



**RIKEN TECHNOS**

リケンテクノスグループ  
RIKEN TECHNOS GROUP

**CSR**報告書  
Corporate Social Responsibility Report

**2015**



リケンテクノス株式会社

## 編集方針

リケンテクノスは2002年10月に「環境報告書」を、2005年よりこれを「環境経営報告書」として、環境に主眼をおいた企業としての取り組みと成果を公表してまいりました。2007年からは社会的側面を含め「CSR報告書」とし、企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)の観点からリケンテクノスグループの経営理念実現に向けた取り組みと成果をわかりやすく報告することを心がけています。

「CSR報告書」の第9号となる本報告書は、若手社員と社長 清水との対談を特集といたしました。未来のリケンテクノスを担う若い人材にご注目ください。

### 報告書の対象範囲

#### 報告対象期間

2014年4月1日～2015年3月31日

なお、本報告書には一部2015年度の活動内容も含んでいます。

#### 報告対象範囲(所在地は12～15ページをご覧ください)

本報告書における環境報告の対象範囲は、リケンテクノス株式会社およびそのグループ会社下記19社です。項目によってはグループ会社を含まない場合もあります。

#### 対象グループ会社名

- 進興電線株式会社
- 株式会社協栄樹脂製作所
- リケンテクノスインターナショナル株式会社
- リケンケミカルプロダクツ株式会社
- リケンファブプロ株式会社
- リケンタイランドカンパニーリミテッド
- リケンエラストマーズタイランドカンパニーリミテッド
- PT. リケンインドネシア
- 上海理研塑料有限公司
- 理研食品包装(江蘇)有限公司
- リムテックコーポレーション
- リケンエラストマーズコーポレーション
- リケンベトナムカンパニーリミテッド
- リケンテクノスインターナショナルプライベートリミテッド
- 理元(上海)貿易有限公司
- リケンテクノスインターナショナルコリアコーポレーション
- リケンテクノスインターナショナルベトナムカンパニーリミテッド
- リケンU.S.A.コーポレーション
- リケンテクノスヨーロッパB.V.

#### 報告対象分野

本報告書はリケンテクノス株式会社およびグループ会社の経営・社会・環境に関する取り組みを報告しています。

### 参考にしたガイドライン

本報告書の構成については、環境省による2007年6月発行の「環境報告書ガイドライン(2007年版)」、2005年2月発行の「環境会計ガイドライン(2005年版)」、およびISO26000を参考に作成しました。

### 発行時期

2015年9月(次回発行予定 2016年9月)

#### 発行経歴

年度	発行年月	名称
2004	2004年10月	環境報告書
2005	2005年10月	環境経営報告書
2006	2006年10月	//
2007	2007年10月	CSR報告書
2008	2008年10月	//
2009	2009年10月	//
2010	2010年10月	//
2011	2011年10月	//
2012	2012年10月	//
2013	2013年9月	//
2014	2014年9月	//



#### 表紙について

リケンテクノスのコーポレートマークとリケンテクノスインターナショナルベトナムのあるベトナム国ホーチミン市に咲きほこる蓮の花とを融合したデザインにしました。

コーポレートマークは2001年の創立50周年を機に社名変更と同時に一新したもので、RIKEN TECHNOSの“R”をベースに、コア事業であるコンパウンドとフィルムのイメージを組み合わせて信頼感を表し、未来へ羽ばたくしなやかな翼の形を表現しています。

リケンテクノスグループは、持続可能な社会の実現をステークホルダーの皆様とともに考え、行動していきます。

# 目次

**編集方針** ..... 2

**特集**

座談会 ..... 4

**リケンテクノスグループの概要**

リケンテクノスグループ概要 ..... 10

国内・海外ネットワーク ..... 12

製品のご紹介 ..... 16

コーポレート・ガバナンス ..... 18

## 社会性報告

お客様とのかかわり ..... 20

株主様とのかかわり ..... 23

お取引先様とのかかわり ..... 24

地域の皆様とのかかわり ..... 26

従業員とのかかわり ..... 30

## 環境報告

環境管理活動 ..... 36

活動結果の概要 ..... 38

有識者の意見 ..... 45

編集後記 ..... 45

## 2015年入社の皆さん

リケンテクノスの未来を担う新入社員の皆さんに、コア・バリューにある「仕事を楽しみワクワクする」をテーマに、「〇〇だったら、ワクワク」という用紙に、自分なりの「〇〇だったら」を書いてもらいました。



# 溢れる若い力で、 企業と人と社会に 新たな価値と喜びを 提供し続けます

リケンテクノスが若い力に寄せる期待は大きいものがあります。ベンチャー企業としてスタートした歴史を持つことから、若い躍動感や責任感が常に会社を前に進め、その後の進化のエネルギーとなってきたからです。今、新しいステージへ歩を進めたリケンテクノスの若い世代はどんなベンチャー精神に燃え、どんな飛躍を志しているのでしょうか。

夏の日差しがまぶしい2015年7月のある日。新人から経験を積み、いつの間にか頼もしい戦力に育った若い10人が集まって、現場で感じた悩み、喜び、感動、さらにリケンテクノスを舞台にどんなことができるのか、していきたいのか。清水社長を囲みながらざっくばらんに語ってもらいました。



## 座談会出席者

しみず 清水	ひろし 浩 (代表取締役社長)	ウォン ジャスティン (ソリューションビジネスユニット)
あさの 浅野	まさゆき 容之 (建材・建装材ビジネスユニット)	ほりうち 堀内
やまもと 山本	たいすけ 泰輔 (電材ビジネスユニット)	ななみ 七海 (研究開発センター 第2開発室)
まつまる 松丸	みき 美紀 (車両ビジネスユニット)	なかじま 中島
せご 瀬古	たかひで 貴英 (生活資材医療ヘルスケアビジネスユニット)	しやうこ 尚子 (研究開発センター 第6開発室)
せご 瀬古	たかひで 貴英 (生活資材医療ヘルスケアビジネスユニット)	わしお 鷺尾
ちえ 崔	ふんごく 殷碩 (情報電子ビジネスユニット)	のぞむ 望 (研究開発センター 第7開発室)
		こばやし 小林
		あさむ 修 (リケンファブロ株式会社)

## やりがい

はじめに、仕事の喜び、やりがいをどんなときに感じるのか、全員に聞いてみました。

**瀬古** 医療関係の営業で3年目に入りました。やりがいは自分の提案したものが、お客様にとっても当社にとってもいい結果が出たときです。今まさに私の提案が大口案件として採用される寸前というタイミングで、さらに大きなやりがいを感ずるだろうという期待感を持っています(笑)。

**浅野** 建築・建装材の営業担当としてようやく一人でお客様へ訪問する機会が増えてきました。最近、お客様がポロツと口にされたことをキャッチして技術部門と一緒に提案したところ、お客様から「よし、じゃあやろう」ということになり、すごくやりがいを感ずています。

**堀内** お客様から知識を得ることも多く、一緒になって新しいものを作り上げたときはやりがいを感ずます。最近、お客様アンケートのコメントで「技術、営業、デリバリー、合格!」と書いていただきました。これは嬉しかったですね。



**W.ジャスティン** まだ経験が浅いので失敗を重ねながら学んでいくという難しさを味わっています。それでもたまに注文をいただくと嬉しいです(笑)。

**山本** 電材ビジネスユニットの営業です。大きなお取引をいただいたお客様に、「なぜ採用していただけたのか?」とお聞きしたら、「山本さんの情熱に負けた」ということでした。会社としてだけでなく、個人としても評価をしてもらえてやりがいを感じました。

**松丸** 営業として4年目に入りました。やりがいは2つです。一つは単純にお客様のお役に立てて喜んでいただけること。もう一つは、自分の成長を実感できること。自分の父親くらいの年代のお客様が相手だと、最初は共通点が何もないのですが、毎日向き合って話しているうちに心を開いてくれます。自分の気持ち次第で相手も変わるんだということ学びました。

**中島** フィルムの開発をしています。今までの技術の組み合わせだけでは、なかなか解決できない課題がたくさん

あります。それで実験を重ねながらなんとかブレイクスルーに持ち込んでいく。それがやりがいですし、自分の係わった製品(冷蔵庫)が店頭に並ぶ姿を見るのもとても嬉しいです。

**鷺尾** 光学用途でガラスの代わりになる「こんな硬いフィルムがある!」という触れ込みで出回っていたものを手に取ってみると、実はうちのフィルムだったことがあります(笑)。お客様を感動させた製品に携わったことを素直に嬉しいと思いました。

**崔** そのガラス代替のフィルムの営業をしていますが、お客様はこれまでガラスという使い慣れた製品を使ってきていたわけですから、新しいフィルムという素材をネガティブに考える人も多い。それでも



清水 浩社長



浅野 容之



山本 泰輔



松丸 美紀



瀬古 貴英



崔 殷碩

カーナビを作る韓国の会社など、当社のフィルムに魅力を感じて加工設備に投資してくれるところも出てきました。当社のフィルムの味方となって一緒に動いてくださるお客様が増えることがやりがいといえますね。

**小林** 新たなスタートをきったリケンファブロ\*1で外食産業向けの営業を担当しています。ラーメンチェーンや居酒屋チェーンの大手に新規納入が決まりました。ラップフィルムのほかに、ゴミ袋、クッキングペーパー、アルミホイルと様々な商品を扱えるようになったので、リケンテクノスではできなかったことに取り組んでいくつもりです。

**清水社長** 製品の価値を認めてもらうと同時に、自分自身をお客様に認めてもらうことが大切です。やりがいというのは、それに尽きると思いますね。そういう、会社と会社の関係を越えて人と人との関係づくりができるかどうか、これからはとても重要になってくると思います。

## Needs(ニーズ)とWants(ウォンツ)

ユーザーが困っていること。もっとこうしたいと思ってること。お互いのつながりが深まれば、もっと具体的につかめるはずですね。

**山本** 昔からの町工場的な中小企業のお客様には、いかに懐に飛び込むかということが勝負と考えています。何度も訪問する中でお互い呼吸もわかって、今だ！という瞬間があります。その見極めができるのが営業ではないかと思っています。

**浅野** 私のお客様は、長年同じ材料を使用して満足されていました。そのお客様は、高速道路の分離帯にあるポール

コーンを成型加工されているのですが、国内市場は飽和状態ですから、自然と売り上げは落ちてきています。そこに注目して、コストも性能もメリットが出る新しい材料をご提案し、配合を組み始めています。現在、特に不満を抱いていらっしゃるお客様に対しても、何か良いご提案ができないか、常にアンテナを張るよう心がけています。

**小林** 昨年、外食産業や食品加工産業では国内外で異物混入の事件が多発しました。それで企業側も対応策の検討を進めています。リケンファブロが販売するブルーラップであれば青色が付いているので、万ラップの切れ端が商品に混入してもすぐにわかります。このようにお客様の困っていることを解決していきたいと考えています。

**崔** 情報機器のディスプレイにガラスで満足しているお客様に対して、ガラスの代わりとなるREPTY® DCフィルムをただ紹介するだけでは、壁を乗り越えられません。だから、開発部門と一体となって自分が納得するまでサンプルを作ってみました。そこまでやると、やはりその気持ちはお客様に伝わるもので、積極的に製品を検討していただけます。

**清水社長** お客様が何に悩んでいるのかというニーズ(Needs)と、今具体的に何を望んでいるのか、何をやろうとしているか。そういう、ウォンツ(Wants)を引き出していないと仕事にならないはず。このお客様はヨーロッパ市場に興味を持っているとか、アメリカにこんな製品の販売を希望されている、といったことです。そういう具体的なウォンツをどれだけ引き出せるかとなると、人と人との関係、その関係づくりが大事になってきますね。

**鷲尾** われわれのフィルムを使った結果、「こういう不具合が出ましたよ」と言われたときに、それはなぜ起こったのか

\*1 リケンテクノスは、2012年10月1日に三井化学ファブロ株式会社の全株式を取得し、当社の食品包材事業を同社に集約の上、「リケンファブロ株式会社」として新たにスタートさせました。

イマジネーションを働かせて解決していかなければなりません。正直、これまではなかなか想像力が足りていなかったところがありました。「こういう条件で、こういう加工方法であればできます」と提案できる開発者に早くなりたいと思います。

**中島** 冷蔵庫の扉用化粧フィルムの開発をしています。お客様によって扉の加工方法、断熱材の発泡ウレタンの量や温度が違います。ですから、実際にお客様と顔を合わせ、「こうしましょう、ああしましょう」と言いながら進めていくこととなります。お客様の加工ラインを見せていただいたり、製造された扉をいただいて自分で分解してみたりとか。とても一人ではできないので、関係者みんなで協力あっています。

**松丸** 自動車部品向けのコンパウンドの営業をしていますが、価格競争がものすごく激しいです。それで、Apple社のiPhoneがあんなに高い値段にもかかわらず、あれだけのユーザーがいるのはなぜだろうと考えてしまうのですが、やっぱりマーケティングがうまいということだと思いました。誰もが欲しいと思うニーズをつかみとる感性を持って、お客様の話を聞かないといけないと常に思っています。

**清水社長** 「つくって、まわして、かせぐ」という言葉がありますね。「つくる」というのはどれだけ創造力を極めるかということです。「まわす」とは日本人独特の配慮や気遣いを持って次の人にバトンタッチすることです。営業がお客様からいただいてきた仕事を製造に引き継ぐときに、どれだけわかりやすい注文を出しているか。開発する人がどれだけわかりやすい内容を営業に伝えているか。そうしたことを一つ一つ、きちんとやっていけば、結果としてお客様との間に信頼関係、深いつながりが育っていきます。つくって、

まわして、かせぐという素朴な言葉には、実は、企業と人と社会をつなぐ原理が語られていると思います。

## 将来への取り組み

リケンテクノスの持ち味、魅力を活かしながら、どんな会社を目指していったらいいのか。これからのことを語っていただきました。

**松丸** リケンテクノスは人と人の距離が近いことが魅力だと思います。営業同士でも、開発部門でも、購買部門でも、わからないことはすぐに教えてくれますし、私自身もそうありたいと感じています。逆に、少し残念かなと思う点は、ルールに縛られすぎているところ。書類一つをとっても、あの部署を通すとか、この部署を通すとか、すごく手順が多すぎて時間ももったいないと感じることが多いです。どなたか交通整理をしてほしいですね(笑)。

**山本** 上司に意見を言いやすい、意見を出しても前向きにとらえてくれる。リケンテクノスは風通しのいい会社だと思います。逆に、自分が関わっている電材業界自体がそうだからというのがあるのですが、けっこう保守的なところもあります。どんどん意見をぶつけて暴れ回って、そういう雰囲気もどんどん崩れていきたいなと思っています。

**鷲尾** 先輩方に非常に相談しやすい雰囲気があるのは、この会社の魅力の一つだと思います。自分が技術的な壁にぶつかったときに、嫌な顔ひとつせず話を聞いて、相談に乗ってくれます。ただ、これからの課題は、そうした技術的な経験の蓄積方法、つまりデータ化だと思います。長い歴史の中で、職人的、属人的に、社員の中に蓄積されている大事な



ウオン ジャスティン



堀内 七海



中島 尚子



鷲尾 望



小林 修

資源をいかにデータ化するかが必要だと痛感しています。

**中島** 分野によっては技術があまり伝承されていないなということを感じますね。なので、自分で調べて、メーカーさんに聞いて、また自分で実験してということになります。自分より下の世代の人には、今自分が集めている実験データなどしっかり残していきたいと思います。

**清水社長** 技術の蓄積がないと、先に進もうというときにまた戻って一からやらなくてはなりません。スピードを上げるためにも、そこは早急に手をつけなければいけませんね。当社で検証できない実験データなどは、もっとパートナーのメーカーさんに要望を出していかないとなかなか出てこないものです。それぞれの部門で外部と密にコンタクトを取りながら勉強してもらいたいと思っています。

**堀内** 当社は、最初はベンチャーというか、町工場からスタートしたということで、私はそういうところがすごく好きで入社を決めた一人です。会社が利益を上げてどんどん大きくなっていくのは素晴らしいことだと思うのですが、創業時の良さがなくなっていくのはつまらないと思います。自由な仕事環境こそベンチャー精神が生きてくるものです。

**崔** リケンテクノスは、以前勤務していた製造メーカーと比べても、非常にスピードが速いと思います。ベンチャー企業の良さが残っていると思いますね。

**浅野** 開発部門は開発するだけじゃない、営業は売るだけじゃない、という考え方が会社全体にあるというのも、そう

いうベンチャー精神が残っているからでしょうか。

**W.ジャスティン** 会社の福利厚生が素晴らしい(笑)。いろんな手当がいいです。この会社に入ってグローバル都市の東京の区民になれたのは、とても嬉しかったです(笑)。

**小林** 魅力的な会社とは、会社がしっかり市場のニーズに応じて利益を出していることだと思います。みんながやる気になって、給料も上がって、みんながハッピーでありたいですね。

**瀬古** 私の部署では毎日よく話をします。おかげでみんなが常に同じ方向に向かっていけます。すぐに相談して、その場で結論を出して、お客様と向き合える。ビジネスユニット制になったことで、リケンテクノスがより魅力的になったかなと思います。

**清水社長** それで業績も残している。さすがです。

### 最後に社長からひと言。

**清水社長** 若い人とこうやって議論して、やっぱり若い世代には会社を変えていくだけの潜在力があると思いました。皆さんには次代のリケンテクノスを作るのだ、という自覚を持ってほしいです。話の中で先輩やまわりの人が優しいというエピソードが何度か出ましたね。ちょっと気になるのは、優しいのはいいが、優しいだけで終わらないようにということです(笑)。優しいだけでは会社は強くないんですね。叱るときは叱る、厳しく指導するときは厳しくやる。厳しさと優しさ、歌の文句じゃないけれど(笑)、皆さんもそういう先輩に育ってほしいですね。

会社のカルム、業界のカルムも壊していけるのは、やはり若い力です。お客様や取引先の若い人たちと積極的に交流する中で、そういうチャンスをぜひ作って果敢に変えていってほしいし、前に進もうとする日々の取り組みは「企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続ける」ことに必ずつながります。若い社員の皆さんと話したりすることをとっても楽しみにしているので、次はまた食事しながらでも、これから会社をよくするためどうしたらいいのか、お話ししたいですね(笑)。



## 「リケンテクノス ウェイ」

### ミッション (会社の使命・存在意義を表します。)

私たちは科学の力で 豊かさ、安心、快適を創り出す  
チャレンジメーカーです  
独創的で卓越した  
樹脂素材の配合加工技術で  
企業と人と社会に  
新たな価値と喜びを提供し続けます

### コア・バリュー (基本的価値観を表します。)

信頼しあい貢献しあう  
新しい価値を生み出す  
常に挑戦し成長する  
仕事を楽しみワクワクする  
共に解決し共に喜び

## 「経営の基本方針」

私たちは「チャレンジメーカー」です。  
「リケンテクノス ウェイ」を基盤とし、技術本部・製造本部・営業本部が三位一体となった取り組みを推進します。具体的には、高い配合加工技術を活かした高付加価値の事業体質づくりを目指し、一層のグローバル戦略を推し進めます。リケンテクノスグループが造る、高品質で、高機能な製品を、世界のより多くの顧客に提供することを目指します。常識にとらわれず挑戦することが、私たち「チャレンジメーカー」としての使命です。



リケンテクノス株式会社 取締役および監査役

## 「環境に関する経営方針」

### 適切な化学物質管理

リケンテクノスグループは、化学物質管理に関する諸法規・諸規制を遵守しています。また、自ら基準や目標を定め、より高いレベルでの環境管理を行っています。

### 環境負荷の低減

環境に配慮した製品開発や生産からお客様にお届けするまでのあらゆる場面で、環境負荷低減を目的にした取り組みを行い、廃棄物や二酸化炭素排出量の削減など地球環境保全への貢献を目指しています。

### 情報開示

リケンテクノスグループのこうした取り組み状況と成果を積極的に開示し、ステークホルダー、特に生産拠点のある地域住民の皆様からご理解を得るべく努力してまいります。

### リケンテクノスグループCSR報告書

本報告書はリケンテクノスグループの理念実現と社会的責任に対する様々な取り組みとその成果をまとめたものです。本報告書を通じて当社グループの取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただけますようお願いいたします。

## TOP MESSAGE



リケンテクノス株式会社  
代表取締役社長

清水 浩

2013年4月にスタートした3か年中期経営計画も2015年4月から最終年度を迎えました。主要課題のひとつは、「徹底した人材育成」です。未来のリケンテクノスを担う若い社員が、現在どのような課題を抱え解決しようとしているのか、当社のミッションである「企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続けます」ということを、どう実現していくのかを率直に語り合い、今回のCSR報告書の特集として掲載いたしました。彼らが喜んだり悩んだりしながら、真摯にお客様と向き合う姿勢、また彼らの前向きな力強さこそが、これからの日本を支えるものと信じ、徹底した人材育成に取り組んでまいります。

また、3か年中期経営計画の目標完遂に向け、他の主要課題にも取り組み、お客様の先端技術を支えるべく、素材の世界で挑戦し続けてまいります。

# リケンテクノスグループ概要

## 会社概要(2015年3月31日現在)

社名	リケンテクノス株式会社
設立年月日	1951年(昭和26年)3月30日
資本金	85億14百万円
代表取締役社長	清水 浩
従業員数	連結 1,714名 個別 658名
本社所在地	東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地 (2015年9月28日移転)

1951年に設立されました。

2001年の創業50周年を機に社名を理研ビニル工業株式会社から「リケンテクノス株式会社」(RIKEN TECHNO)は、「RIKEN」「TECHNOLOGY」「SUPPLIER」を統合した名称)に変更しました。

創業以来培われてきた合成樹脂加工に係わる総合的な技術をベースに「コンパウンド事業」「フィルム事業」「食品包材事業」の3事業を柱に国内外で事業を展開しています。経営理念「リケンテクノス ウェイ」のもと、「科学の力のチャレンジメーカー」として、多様化・高度化するお客様や社会のニーズに適した、高品質な製品・技術を提供しています。

## 事業内容

リケンテクノスは塩化ビニル樹脂コンパウンドの商業生産とその販売を目的に「理研ビニル工業株式会社」として

### コンパウンド事業

コンパウンドとは、ベースの樹脂に添加剤を何種類か混ぜ合わせ、新しい性質を持たせた複合材料で、主に押出成形や射出成形に使われる素材です。

#### ● 主要製品

塩化ビニルコンパウンド、熱可塑性エラストマー、導電性コンパウンド、制電性コンパウンド、バイオマスコンパウンドなど



### フィルム事業

配合した樹脂の特性に適した製法で高品質のフィルム製膜を行っています。また、複数のフィルムを貼り合わせたり、表面に機能性塗料をコートすることによって意匠性や機能性をもたせたフィルム製品を製造しています。

#### ● 主要製品

建築内装化粧シート、鋼板用フィルム、ポリエステル樹脂系フィルム、IRカットフィルム、ウィンドウ用装飾フィルム、光学用フィルムなど



### 食品包材事業

日本で最初に塩化ビニル樹脂ラップを開発したパイオニア2社が事業統合し、家庭用から業務用まで、幅広い包装用途に最適の品質・性能を追求した製品を開発し、市場に提供しています。

#### ● 主要製品

塩化ビニルラップ、オレフィン系ラップなど



## 業績

2014年度は、当社グループは、消費税率引き上げの影響や原油価格の大幅な変動により、厳しい状況が続いたものの、北米やアジア地域などを中心とした海外のコンパウンド製品の拡販が売上に大きく貢献し、増収となりました。連結営業利益が減益となったものの、連結経常利益は増益となり過去最高となりました。

※業績についての詳細は、当社ホームページの「財務・IR」のページをご覧ください。

### ● 2014年度 業績

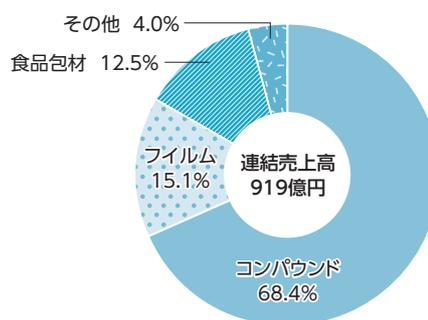
(単位:億円)

	連結	個別
売上高	919	431
営業利益	36	11
経常利益	40	23
当期純利益	19	17

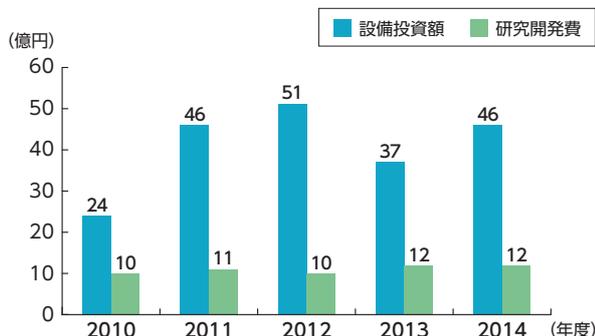
● 業績の推移【連結】



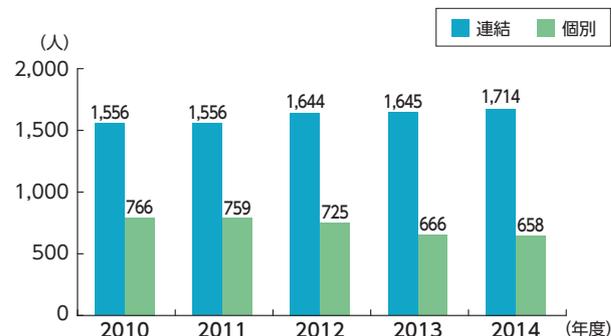
● セグメント別連結売上高構成比



● 設備投資額および研究開発費の推移【連結】



● 従業員の推移



## 中期経営計画

2013年4月にスタートした3か年中期経営計画は、2015年度にファイナルステージを迎えました。最終目標必達に邁進すべく、「Dimensional Change～グローバル、更なるスピードアップ～」を経営方針とし、従来の延長線上ではなく次元を変えた取り組みを行うことで、主要課題の解決を実現してまいります。国内外拠点の連携を深め、「リケンテクノス」品質をグローバルに安定供給できる体制を強化し、市場別組織に改組された営業体制のもと、技術、製造と一体となって、新商品の上市、生産の合理化等に取り組んでまいります。

※業績についての詳細は、当社ホームページの「財務・IR」のページをご覧ください。

(連結ベース)	2015年度(最終年度)目標
連結売上高	1,000億円
連結営業利益	70億円
連結経常利益	70億円
連結当期純利益	40億円



「Dimensional Change」すなわち、「次元を超えた取り組み」を視覚的に表しています。個々の点をつないで線へ、その線を結んで面となり、そこにスピードが加わり、ひとつの未来に向かっていく様を表現しています。

◆ 主要課題

① コンパウンド事業の更なるグローバル展開

更なるグローバル展開を図ります。特に、重点市場と位置付ける自動車、医療・ヘルスケア分野に関しては、世界でのプレゼンスを高めてまいります。

② フィルム事業の抜本的な立て直し

生産体制の最適化、海外生産拠点の実現などに取り組み、主力事業での黒字拡大を目指すと同時に、高機能製品の上市により高収益体質を実現してまいります。

③ 最適な営業推進体制の構築

2014年4月より最適な営業推進体制の構築に向け、製品ごとの営業体制から市場分野ごとの営業体制へ組織変更を行いました。マーケットインの活動をさらに強化してまいります。

④ ソリューション事業の事業化実現

製品の形にとらわれることなく、サービスも含め新たなビジネスモデルを築いてまいります。

⑤ 徹底した人材育成

グローバルに活躍できる人材育成に努めるとともに、グループの全社員が「熱意を持って取り組み、徹底してやり遂げる」力を自ら育めるように取り組んでまいります。

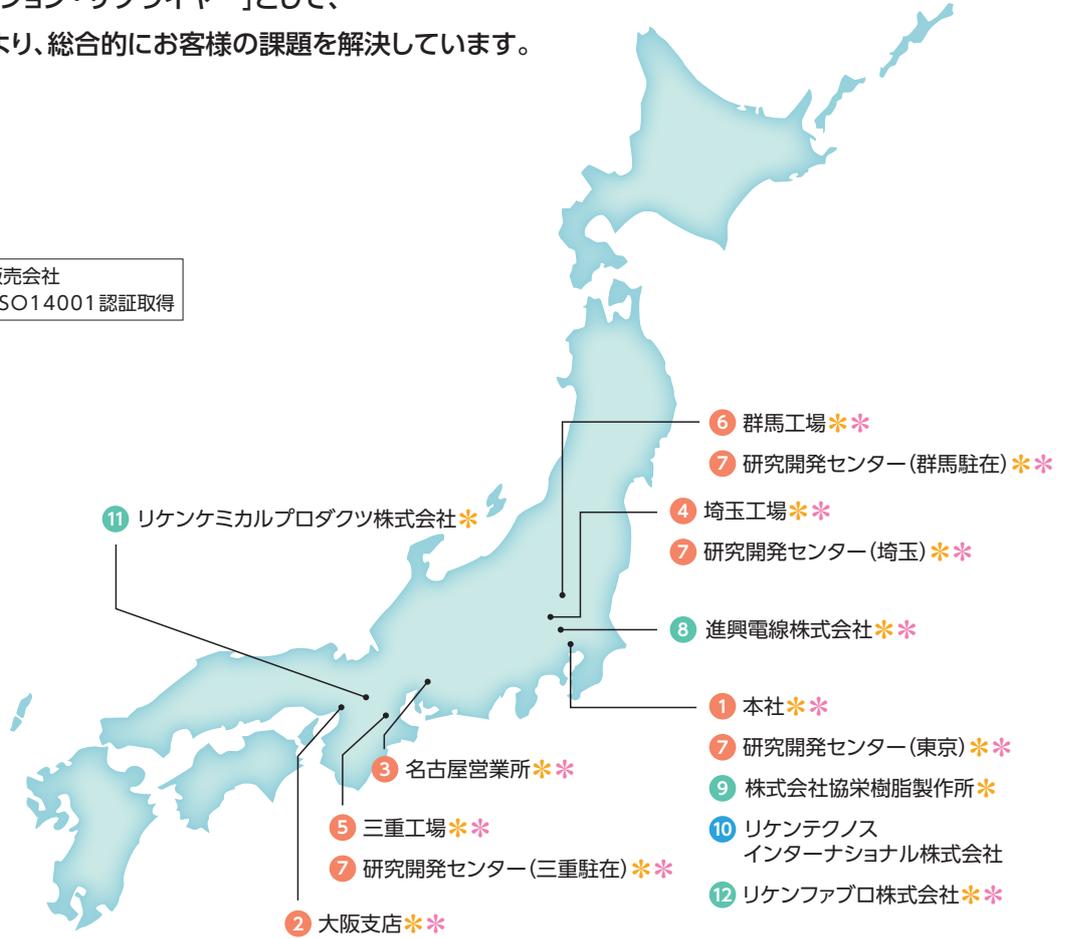
# 国内・海外ネットワーク

リケンテクノスグループは、リケンテクノスおよび関係会社19社で構成されています。創業以来、積極的に国内外市場を開拓し、リケンテクノスブランドの浸透に努めてきました。「マテリアル・ソリューション・サプライヤー」として、国内外拠点の連携により、総合的にお客様の課題を解決しています。

## 国内

- 事業所   ● 製造会社   ● 販売会社
- ✳ ISO9001 認証取得   ✳ ISO14001 認証取得

2015年9月現在



## リケンテクノス株式会社事業所および国内関係会社



1 本社



2 大阪支店



3 名古屋営業所



4 埼玉工場



5 三重工場



6 群馬工場



7 研究開発センター

リケンテクノス株式会社事業所	主な業務内容	所在地
① 本社	本社機構、営業	東京都千代田区
② 大阪支店	営業	大阪府大阪市
③ 名古屋営業所	営業	愛知県名古屋市
④ 埼玉工場	コンパウンド・フィルムの製造	埼玉県深谷市
⑤ 三重工場	コンパウンド・フィルムの製造	三重県亀山市
⑥ 群馬工場	クリーン環境下での高機能フィルムの製造	群馬県太田市
⑦ 研究開発センター	研究開発および国内外拠点の技術的サポート	東京都大田区 埼玉県深谷市 三重県亀山市 群馬県太田市

国内関係会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
⑧ 進興電線株式会社	電線の製造・販売	埼玉県入間市	4,800万円	100%
⑨ 株式会社協栄樹脂製作所	合成樹脂製品の成型加工および製品の販売	東京都千代田区	2,400万円	100%
⑩ リケンテクノスインターナショナル株式会社	合成樹脂加工品販売	東京都千代田区	1,000万円	100%
⑪ リケンケミカルプロダクツ株式会社	コンパウンドの製造・販売	滋賀県湖南市	3億円	100%
⑫ リケンファブロ株式会社	食品包装用フィルムの製造・販売、日用品雑貨の製造・販売	東京都千代田区	2億円	100%

国内関係会社は本社所在地のみを表示しています。



⑧ 進興電線株式会社



⑨ 株式会社協栄樹脂製作所



⑩ リケンテクノスインターナショナル株式会社



⑪ リケンケミカルプロダクツ株式会社



⑫ リケンファブロ株式会社

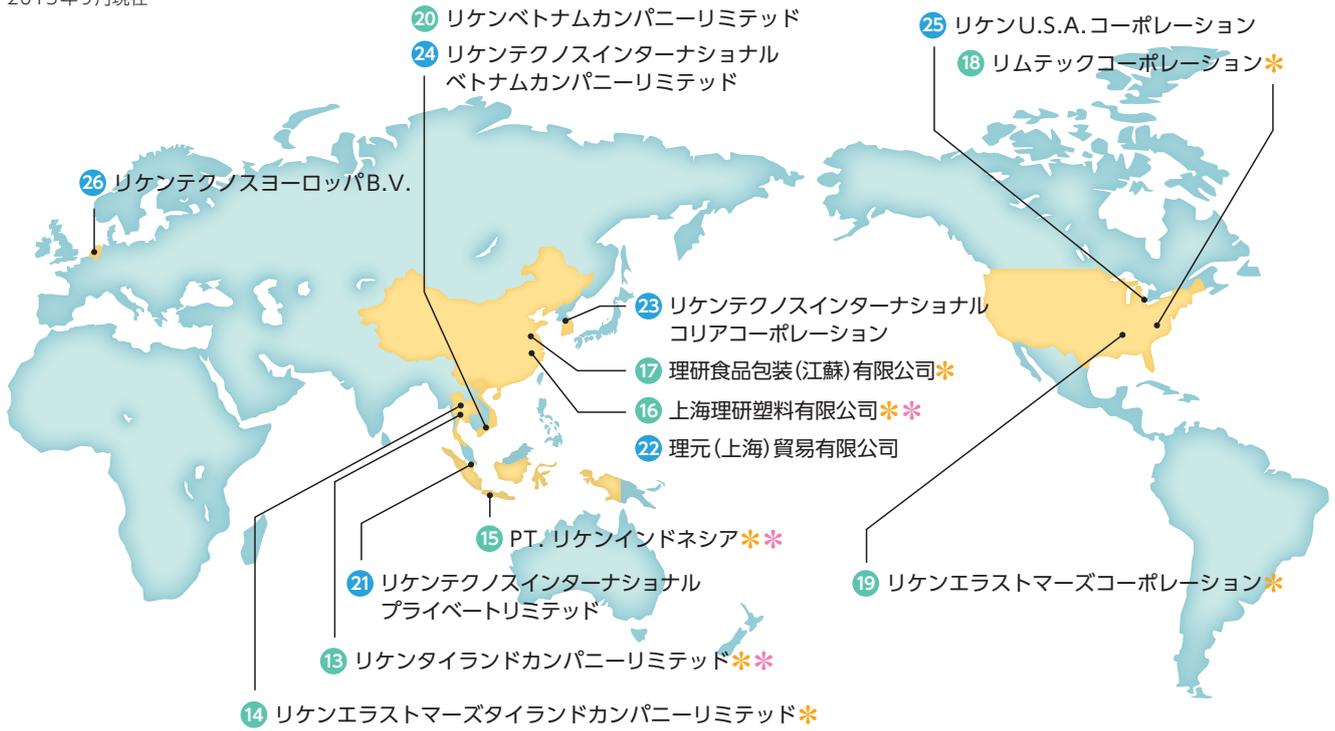
# 国内・海外ネットワーク

海外には14社の関係会社があり、世界中に高い品質のリケンテクノス製品をお届けしています。

## 海外

● 製造会社 ● 販売会社  
 \* ISO9001 認証取得 \* ISO14001 認証取得

2015年9月現在



## 海外関係会社



13 リケンタイランドカンパニーリミテッド



14 リケンエラストマーズタイランドカンパニーリミテッド



15 PT.リケンインドネシア



16 上海理研塑料有限公司



17 理研食品包装(江蘇)有限公司



18 リムテックコーポレーション



19 リケンエラストマーズコーポレーション



20 リケンベトナムカンパニーリミテッド

完成予想図

海外関係会社	主な事業内容	所在地	資本金	出資比率
13 リケンタイランドカンパニーリミテッド	コンパウンドの製造・販売	タイ国パトムタニ県	1億2,000万 タイバーツ	40%
14 リケンエラストマーズタイランド カンパニーリミテッド	高性能プラスチックコンパウンドの 製造・販売	タイ国アユタヤ県	3億タイバーツ	100%
15 PT. リケンインドネシア	コンパウンドの製造・販売	インドネシア国 ウエストジャワ州	10,000千米ドル	61.84%
16 上海理研塑料有限公司	コンパウンドの製造・販売	中国上海市	7,500千米ドル	70%
17 理研食品包装(江蘇)有限公司	食品包装用フィルムの製造・販売	中国江蘇省	13,500千米ドル	92.59%
18 リムテックコーポレーション	コンパウンドの製造・販売	米国 ニュージャージー州	10,000千米ドル	51%
19 リケンエラストマーズコーポレーション	高性能プラスチックコンパウンドの 製造・販売	米国ケンタッキー州	15,100千米ドル	100%
20 リケンベトナムカンパニーリミテッド	コンパウンドの製造・販売	ベトナム国 ビンズオン省	10,000千米ドル	100%
21 リケンテクノスインターナショナル プライベートリミテッド	販売会社の統括 プラスチック製品の卸売・輸出入	シンガポール国	2,190千 シンガポールドル	100%
22 理元(上海)貿易有限公司	プラスチック製品の卸売・輸出入	中国上海市	5,000千人民元	100% (50%)
23 リケンテクノスインターナショナル コリアコーポレーション	プラスチック製品の卸売・輸出入	韓国ソウル市	6億ウォン	100% (50%)
24 リケンテクノスインターナショナル ベトナムカンパニーリミテッド	プラスチック製品の卸売・輸出入	ベトナム国 ホーチミン市	100千米ドル	100% (100%)
25 リケンU.S.A. コーポレーション	機能性フィルム製品の仕入・販売	米国ミシガン州	3,900千米ドル	100%
26 リケンテクノスヨーロッパB.V.	機能性フィルム製品の仕入・販売	オランダ国 アムステルダム ザウスオースト市	400千ユーロ	100%

※出資比率の欄の( )内の数字は、間接保有割合(内数)であり、当社の子会社が保有しています。



21 リケンテクノスインターナショナル  
プライベートリミテッド



22 理元(上海)貿易有限公司



23 リケンテクノスインターナショナル  
コリアコーポレーション



24 リケンテクノスインターナショナル  
ベトナムカンパニーリミテッド



25 リケンU.S.A. コーポレーション



26 リケンテクノスヨーロッパB.V.

# 製品のご紹介

リケンテクノスグループの製品は、用途に応じて加工され、暮らしの中で活躍しています。

## 自動車(外装)製品

- 各種モール材用コンパウンドおよびフィルム
- グラスランチャネル用コンパウンド
- ワイヤーハーネス用コンパウンド
- グロメット用コンパウンド



## 自動車(内装)製品

- シートベルトカバー用コンパウンド
- ウィンドウ用フィルム
- シフトノブ用コンパウンド
- 内装パネル用フィルム



## 建材・建装材製品

- 高級壁装フィルム
- 断熱窓枠用コンパウンド
- キッチンなどの表面化粧フィルム
- ユニットバス壁面用フィルム



- 建装材部材用コンパウンド



手すり



カーテンボックス



腰壁

## 医療・ヘルスケア製品

- シリンジガスケット用コンパウンド
- 血液回路用コンパウンド
- 枕のクッション材用コンパウンド
- 輸液チューブ用コンパウンド



### 電装材製品

- 機器用電線被覆用コンパウンド



- ソーラーケーブル被覆用コンパウンド



- フレキシブルフラットケーブル用フィルム



### 電子材料製品

- ディスプレイ用フィルム (REPTY® DC100)



### 生活資材製品

- ペングリップ用コンパウンド



- 接木用フィルム



- レコード用コンパウンド



- サクションホース用コンパウンド



- かばん用E触感®シート



### 食品包材製品

- 家庭用、業務用ラップ



- リケンビッグラップ®



- ブルーラップ



- フォーラップ®



- クッキングペーパーソフト



- ゴミ袋



# コーポレート・ガバナンス

## 社外取締役メッセージ



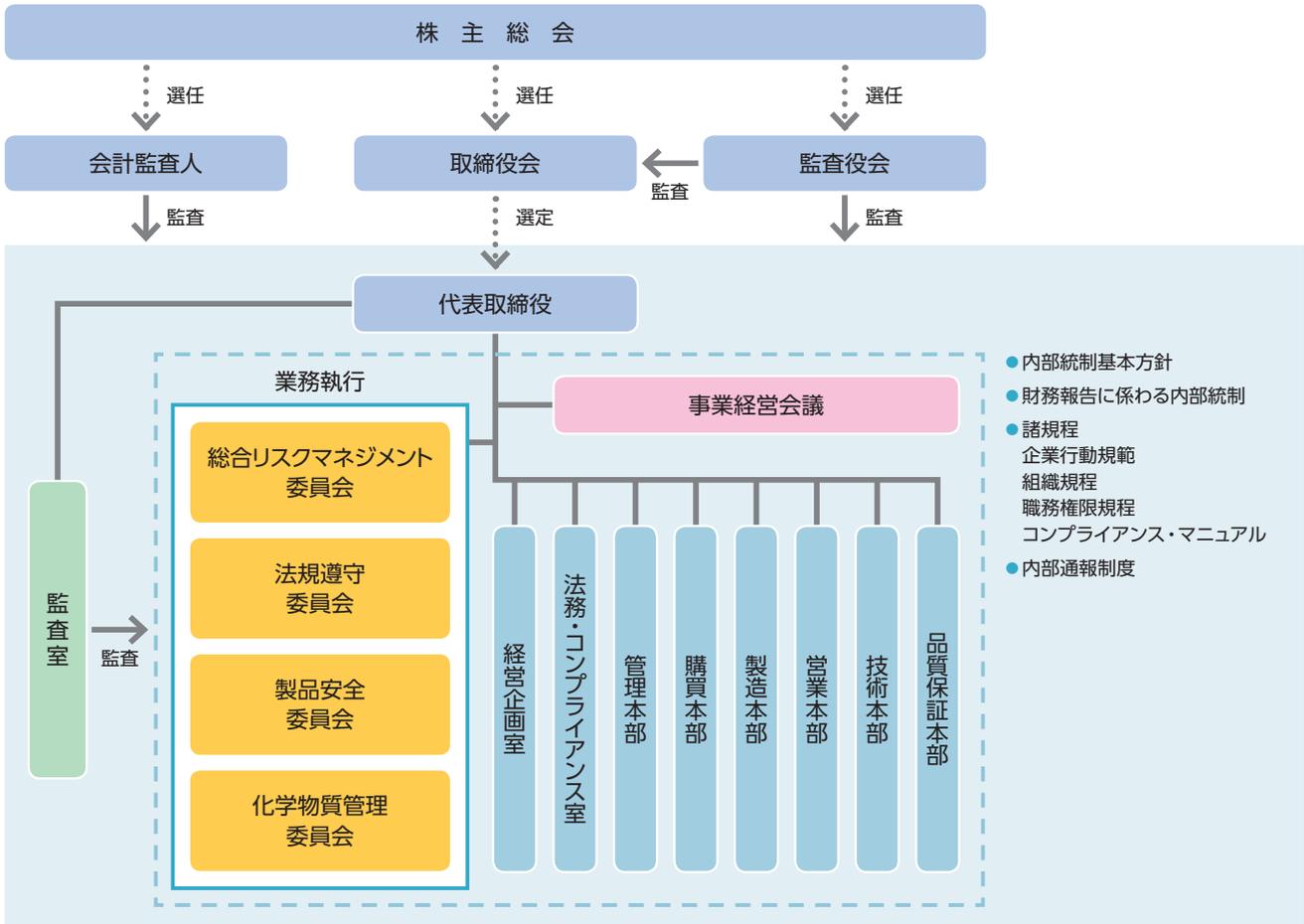
リケンテクノス株式会社  
社外取締役

ねもと ひろし  
**根本 博**

2015年5月に改正会社法が施行され、6月に東京証券取引所がコーポレートガバナンス・コードを定めたことにより、日本の企業にはより強固なガバナンス体制と内部統制システムが求められておりますが、これは世界共通の潮流でもあります。こうした環境下、日本および世界8カ国で製造・販売業務を展開している当社グループが持続的成長を遂げ、社会的責任を果たしていくためには、グループ全体で実効性あるコーポレート・ガバナンス体制と内部統制システムを構築していくことが必須です。私は社外取締役として、従来職歴を通じて修得してきた知見を活かすとともに、株主様、お取引先様、消費者様等の皆様のご期待を大切に、この体制・システムの整備と強化に力を尽くす所存です。

## コーポレート・ガバナンス体制

リケンテクノスは下の図に示すコーポレート・ガバナンス体制を取っています。



## リケンテクノスグループ企業行動規範

社会的信頼を確保し、企業の社会的責任を果たす基本方針として「リケンテクノスグループ企業行動規範」を定め、すべての役員および従業員がこれに従って活動を行って

ます。また、行動規範をカードにまとめて社員一人ひとりが常に携帯し、実践に努めています。

(<http://www.rikenteknos.co.jp/CompanyInfo/corporatebehaviornorms.html>)



## 内部統制システムの基本方針に沿った体制整備

「リケンテクノスグループ企業行動規範」を確実に実現するために「内部統制システムの基本方針」が制定されています。コーポレート・ガバナンス上、特に注力すべき項目とその中で2015年5月に施行された改正会社法の中で特に重要

なグループ各社に係わる項目を抜粋して明記しています。詳細は、リケンテクノスのホームページ、または東京証券取引所のホームページにあるコーポレート・ガバナンス情報サービスからご覧いただけます。

### 取締役・使用人の職務の執行が法令・定款に適合することを確保するための体制

- 代表取締役社長をはじめとした全取締役は、「リケンテクノスグループ企業行動規範」および法令・定款遵守がすべての企業活動において基本であることを全役職員に徹底させる。
- 法務・コンプライアンス室長を法規遵守委員会の委員長に任命し、その活動内容は取締役会に適宜報告される。また、法務・コンプライアンス室は全役職員に対しコンプライアンス教育を実施する。
- グループ各社は、市民社会の安全や秩序に脅威を与える反社会的勢力および団体とは一切関係を持たない。また、反社会的勢力および団体からの不当な要求に対しては、毅然とした姿勢で臨み決して屈しない。

### グループ各社における業務の適正を確保するための体制

- 経営企画室は、当社子会社の管理担当部署として、当社子会社の内部統制システムの構築の指導および情報の共有化の徹底を担当する。
- 経営企画室は、「連結子会社管理規程」等に基づき、当社に対する報告および当社における承認が適切に実施されるように当社子会社を管理・監督する。また、これらの管理・監督を通じて損失の危険を管理する。
- 法務・コンプライアンス室は、「リケンテクノスグループコンプライアンスマニュアル」をグループ各社の役職員に周知徹底させ、グループ各社のコンプライアンス体制の整備および問題の解決に努める。
- 監査室は、定期的にグループ各社の業務監査を実施し、すべての業務活動が法令等に適合することを確認するとともに、経営諸基準に基づいて効率的に運営され、また、経営諸基準が経営目標達成のために適切に機能しているかを点検・評価する。

## 財務報告に係わる内部統制

「金融商品取引法」に基づき、財務報告に係わる内部統制の整備・運用および評価の基本方針書を作成し、2009年3月期決算から適用しています。

2015年3月期決算におけるリケンテクノスグループの財務報告に係わる内部統制は有効であると評価する内部統制報告書を金融庁に提出しました。

## コーポレート・ガバナンス報告書

当社のコーポレート・ガバナンス報告書を適宜開示しています。最新版は、東京証券取引所のホームページにある「コーポレート・ガバナンス情報サービス」のページよりご覧いただけます。

## 独立役員

リケンテクノスは、東京証券取引所上場規程第436条の2の定めに従い、独立役員3名(社外取締役1名、社外監査役2名)を選任しています。

## 内部通報ホットライン

リケンテクノスグループには内部通報規程があり、法令・規則違反に関する疑問などを連絡・相談する窓口として内部通報ホットラインが設置されています。また、2015年5月からは、顧問法律事務所による第三者窓口も新たに設置いたしました。相談者が社内で特定されないようにするなど、匿名性を確保し、相談者がいかなる不利益も受けないよう徹底しています。

## 情報セキュリティ

リケンテクノスでは、アクセス制限・データの暗号化などにより、情報漏洩リスクの最小化に努めています。不正アクセスに対しては最新のプロテクトシステムを導入し防止に努めています。

また、個人情報保護法に基づき、「個人情報保護基本規程」、「個人情報取扱規則」を制定・運用しています。

# お客様とのかかわり

リケンテクノスは「科学の力のチャレンジメーカー」として、お客様に満足いただける製品を開発しお届けいたします。製品の安全性と品質にこだわり、化学物質の管理強化に努めます。

## 営業本部長トップメッセージ



リケンテクノス株式会社  
代表取締役常務 営業本部長

住吉 正充

営業本部は、マーケットインの思想でお客様との取り組みを進めてまいります。営業本部は、お客様とのパートナーシップを大切にいたします。市場の潮流を見極め、市場の変化に迅速かつ的確に対応することを常に意識して、製品・提案のご提供でお客様の発展に貢献したいと考えております。技術本部・製造本部・品質保証本部と一体となり、「建材・建装材」「電材」「車両」「生活資材医療ヘルスケア」「情報電子」「ソリューション」の6つのビジネスユニットがお客様との取り組みを通して、それぞれの市場に豊かさ・安心・快適を提供してまいります。

## 技術本部長トップメッセージ



リケンテクノス株式会社  
取締役 技術本部長  
兼 情報電子ビジネスユニットマネージャー

大谷 寛文

技術本部は、お客様と共に、「価値創造」し「はじめて物語」の新規商材を開発してまいります。市場と繋がり、お客様と繋がり、多種多様な企業の皆様と繋がり、「光のスピード」で新規商材を提供してまいります。そして、新しい価値と喜びを提供し続け、いつもお客様に感動していただくようにチャレンジしてまいります。また、革新的イノベーションを創出すべく、各種企業の方々との協働による開発の取り組みにもチャレンジしてまいります。

## 展示会

リケンテクノスでは、より幅広いお客様へ製品をお届けするため、展示会への出展を行っています。

### 「第6回 高機能フィルム展」

開催日：2015年4月8日～10日  
場 所：東京ビッグサイト



「高機能フィルム展」のブース

### 「人とくるまのテクノロジー展2015」

開催日：2015年5月20日～22日  
場 所：パシフィコ横浜



「人とくるまのテクノロジー展2015」の運営社員



## お客様の声

リケンテクノスは、創業以来多くのお客様に支えられ発展することができました。これからも、お客様の声を真摯に

受けとめ、マテリアルソリューションサプライヤーとしての役割を果たしてまいります。

山一化工株式会社  
専務取締役  
いいた じゅんじ  
飯田 純治 様



(山一化工に)入社して40年以上になりますが、リケンテクノス様とはコンパウンド製品を中心に入社以来の長いお付き合いになります。普通であれば窓口は営業のみですが、御社の場合、技術の方とも直接コミュニケーションを取り、情報交換を行ってまいりました。豊富な試験設備と正確なバックデータ、そして技術力の高さがあるからこそ長いお付き合いができてきたのだと思います。正直なところ一時期対応が遅いときもありました。しかし組織が変わった今ではレスポンスも速く、スムーズな対応をさせていただいております。今後も御社から新機能材料を紹介いただき、弊社の新製品立ち上げに活かしていく所存でございます。今後とも益々のご発展を祈念いたします。

マイクロネクス(イタリア)  
取締役

ベネデット・ポロメッティ 様



2004年にスタートした貴社との関係は、前向きで実り多いものとなっております。特筆すべきは、フィルム製品力と社員の方々です。貴社の製品はお客様が認める高い品質を持ち、マーケットリーダーとして競合他社より際立っています。研究部門は、創造性に富み、新しい色や意匠を開発することで、市場を刺激しています。また、厳選された展示会への出展はリケンテクノスの名を知らしめているといえます。貴社の社員の方と一緒に働く、生産性のある協働体制と同時に、個人的な友情をも構築しやすいです。各国からの競合の進出により、市場の状況はこの数年変化してきていますが、私は貴社がマーケットリーダーとしての地位を再確立するものと確信しております。

サーモビジョン(カナダ)  
社長

アニク・スプルナン 様



1990年に私の父がサーモビジョンという会社を設立してすぐにリケンU.S.A.様とのお付き合いが始まりました。弊社では、5万平方フィートの工場に最新鋭の設備を導入し、高級扉やその付属品、家具部材などの製造技術を培ってまいりました。弊社は最先端の技術を用いた幅広い製品ラインナップを擁していますが、我々の成功の鍵はリケンテクノス社製の化粧フィルムです。貴社と弊社は、北米の大手化粧板メーカーによる「インテグラプログラム」に参画し、建築材の様々な異素材のデザインを各メーカーの協力でマッチさせるといった革新的な取り組みを行い、今でも市場で効果を発揮しています。貴社の高品質なフィルムは、このプログラムに多大なる貢献をしました。これからも貴社と共に発展していけることを望むと同時に、一歩先をいく貴社の製品開発に期待しております。

## 新たな挑戦へ

リケンテクノスで開発している新製品についてご紹介します。

### ◆ 接着性コンパウンド OGMER®

OGMER®は、環状ポリオレフィンと極性樹脂を接着できるコンパウンドです。ガスバリア性と透明性を兼ね備えた多層フィルムへ加工することができます。医薬、食品用途、工業分野への展開を図ってまいります。

### ◆ E触感®エラストマーシート

E触感®エラストマーは、高度に架橋されたスチレン系エラストマーです。人間が感じる心地よい触感を数値化し、そのデータを元に「木のぬくもり」、「シルクの肌触り」、「革の柔らかさ」を思わせる触感を再現させることに成功しました。なめらかで心地よい触感を保有すると同時に、耐薬品性、耐熱性、耐候性など機能的にも優れたシートです。



E触感®エラストマーシートを使用した鞆



E触感®エラストマーシートのカラーバリエーション

# お客様とのかかわり

## 製品の品質保証

### 品質保証本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社  
取締役 品質保証本部長

しまだ たかし  
島田 高志

品質保証本部は、品質方針であります「顧客第一、品質第一を念頭に置き、信頼性の高い製品・サービスを提供する」を基に活動しております。

品質保証本部を組織し、世界中のどこでも同じ「リケンテクノス」品質を供給できるグローバル供給体制の強化を図りました。「熱意と徹底で、不良ゼロ・労災ゼロを実現する」ことを目標に、国内・海外の関係会社への品質監査を通じISO9001システムの向上、5Sの推進を実施しました。その結果、品質への意識が高まり、顧客満足度の向上を図ることができました。

また、環境との調和に配慮した製品づくり、環境負荷物質および、廃棄物の削減を推進しております。

リケンテクノスはISO9001\*1の仕組みを活用しています。各生産拠点に品質保証部門を置き、原材料受け入れから製品納入まで全工程の品質管理を徹底しています。さらに、毎月生産拠点・製造課ごとに品質改善委員会を開催し、不良事例および改善対策、改善実施状況の管理を行い、一

層の品質向上を目指し努力しています。

また、製品の開発段階より、お客様のご要望を満たし、安定した品質が得られる材料設計に注力し、新素材などの環境対応型製品も積極的に開発しています。

## 安全に配慮した製品開発

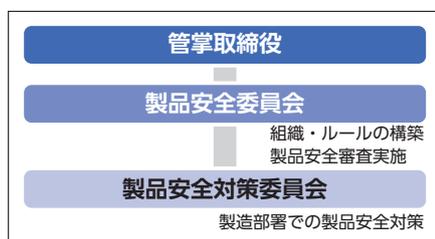
### ◆ 製造物責任(PL\*2)対応

メーカーに課せられた使命として、当社設立以来、製品の安全性に配慮してまいりました。また、製造物責任法\*3の施行を機会に、1995年1月PL問題の発生を防止するシステムを構築するなど、「製品の安全性」への取り組みをさらに強化しています。

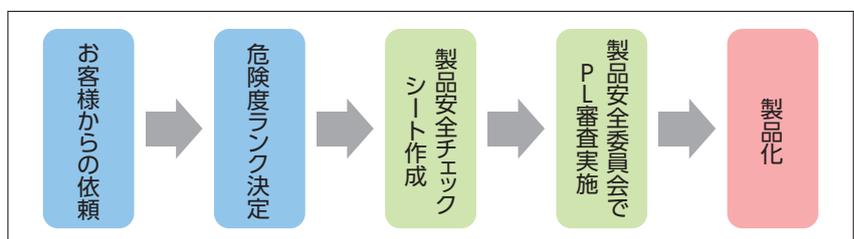
### 製品安全基本方針（製品安全規定より）

製品の開発段階からお客様への納入まで、製品の安全性を確立し、製造物責任に関する諸問題の発生を未然に防止する。

### ● 製品安全組織



### ● 製品安全審査手順



## 化学物質の安全性の管理強化

### ◆ 規制対象化学物質の混入防止製造ライン

ELV指令・RoHS指令などの規制対象化学物質の混入を防止できる製造ラインとなっています。

### ◆ 化学物質管理委員会の設置

「化学物質管理指針」を設定し、法律で禁止されている化学物質のほか、化学物質審査規制法の第一種・第二種特定化学物質と監視化学物質も使用しておりません。労働安全衛生上、避けるべき化学物質も自主的に削減しています。

\*1 ISO9001: 製品やサービスの品質保証を通じて組織の顧客や市場のニーズに応えるために活用できる品質マネジメントシステムの国際規格  
\*2 PL: Product Liability 製造物責任 \*3 製造物責任法: 日本では1995年7月に施行

# 株主様とのかかわり



株主の皆様のご支援に対し厚く御礼申し上げますとともに、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 情報開示について

リケンテクノスは、常に株主や投資家の皆様の視点に立った迅速、正確かつ公平な会社情報の開示を適切に行っています。皆様に事業活動の状況や戦略などへの理解を一層深めていただけるよう、東京証券取引所の適時開示基準以上の積極的開示をするよう努めています。

また、当社ホームページに財務・IRに関するページを設け、決算短信、適時開示資料、有価証券報告書などを情報開示後、速やかにホームページに掲載しています。

## 利益分配に関する基本方針

リケンテクノスは従来から安定した配当を継続して実施することに努めています。積極的な事業展開を行うため十分な内部留保の維持と株主の皆様に対する利益還元を果たせるよう、剰余金については自己株式の買い受けを含め、効率的な使用を取締役会で十分検討の上、決定しています。2015年3月期配当金については、昨年同様に1株当たり5円とし、中間配当金を含めた年間配当金には、1株当たり9円とさせていただきます。

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
2011年3月期	4円00銭	4円00銭	8円00銭
2012年3月期	4円00銭	5円00銭	9円00銭
2013年3月期	4円00銭	5円00銭	9円00銭
2014年3月期	4円00銭	5円00銭	9円00銭
2015年3月期	4円00銭	5円00銭	9円00銭

## 転換社債型新株予約権付社債の発行

2015年3月19日に円貨建転換社債型新株予約権付社債を発行し、40億円を調達いたしました。2020年償還の5年満期で表面利率ゼロのゼロクーポン債であり、将来の金利上昇に備えています。また、発行時の時価を上回る転換価格を設定することで1株当たりの利益等の希薄化を抑制し、既存株主様に配慮しつつ、株式への転換による保有自己株式を活用した自己資本増強も可能にしています。調達した資金は、海外子会社の設備投資のための増資、群

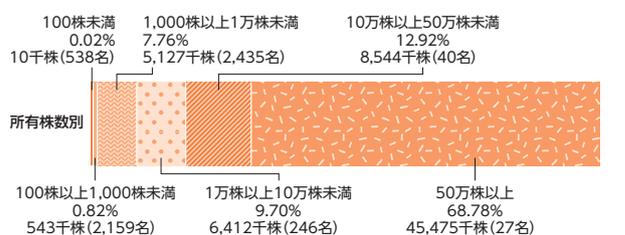
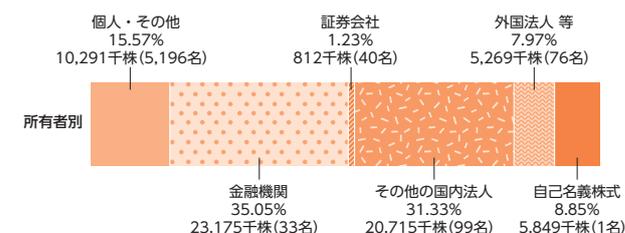
馬工場の設備投資およびリケンファブロ株式会社の株式取得時に実行した借入金の返済原資といたします。

## 株式状況・株主の構成(2015年3月31日現在)

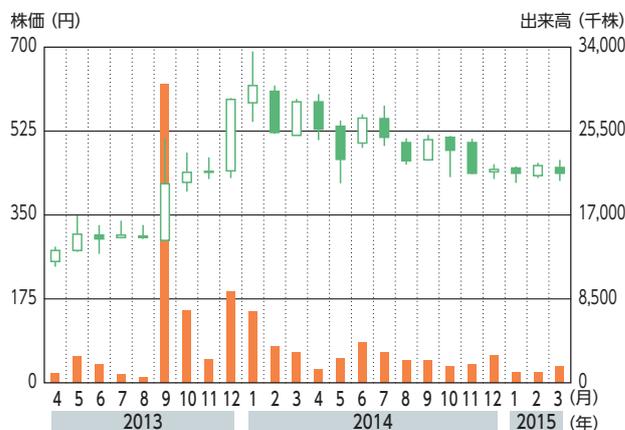
### ● 株式の状況

発行可能株式総数	236,000,000株
発行済株式の総数	66,113,819株
株主数	5,445名

### ● 所有者別・所有株数別株式状況



### ● 株価および出来高の推移



# お取引先様とのかかわり

リケンテクノスでは、サプライチェーンを含めたより良い環境システム、品質システムの構築に努めています。また、コストダウンのために購買の窓口を広げ、競争力のある原料調達に努めています。

## 購買本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社  
理事 購買本部長 兼 資材部長  
杉江 剛

購買本部は、購買・物流に係わる多くのお取引先様と日々、様々なご提案とご協力をいただきながら活動しています。それらは、品質、安全、供給、コストなど多岐にわたり、お取引先様と相互信頼に基づいたパートナーシップを築きあげながら長期的なお取引ができるように努めています。また、海外拠点の拡大に伴う原材料のグローバル調達とその配送およびBCP対策等に関して、国内外を問わず新規のお取引の機会を積極的に提供しています。当社ミッションである「企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続けます」を具現化するために、お取引先の皆様と切磋琢磨し共存共栄をしていきたいと願っています。

## 当社の購買方針について

### 1 公正な購買取引と選定

対等な立場で取引を行います。複数購買を原則とし、公正公平な参入機会を提供します。

### 2 パートナーシップの構築

お取引先様と良好な人間関係を保ち、人間的尊厳を重視し不当な差別はいたしません。

### 3 関連法令の遵守と自主管理

お取引先様との機密情報の取り扱いに留意し、社会的規範や関連法令を重視し、リケンテクノスグループ グリーン調達基準に基づき購入を行います。

### 4 お取引先様の状況

購入にあたり、特に「技術力」「競争力」「経営力」を考慮しています。

## 当社の購買体制について

当社の購買業務は、本社購買本部の資材部と、各工場の業務課が行っています。

### 購買担当

**資材部** 集中購買による原材料・原反・燃料・包装資材・高額設備関連など。

**各工場の業務課** 消耗品・貯藏品・設備関連など。

## リケンテクノスグループ グリーン調達基準

環境に配慮した製品を提供していくためには、環境負荷のより少ない原材料や副資材を調達することが不可欠です。当社は2004年度に環境関連物質に関する「グリーン調達基準」を策定し、ホームページ上に公開しました。さらに、2009年8月、関係会社もこの基準の範囲に加え「リケンテクノスグループ グリーン調達基準」としました。

また、文具・OA機器等の事務用品については「グリーン購入基準」を策定し、可能な限りエコ商品の購入を促進しています。

※詳細は当社ホームページをご覧ください。

### ◆ 適用範囲

当社が調達する樹脂、可塑剤、安定剤、充填剤、強化剤、着色剤、フィルム基材、塗工剤、接着剤など直接製品を構成するものや、包装材、離形紙などの副資材など。

### ◆ 要求事項

- a. お取引先様における環境管理システムの構築
- b. 環境関連物質の管理等に関する環境パフォーマンスの達成
- c. 当社が指定した環境関連物質に関する調査および報告。  
[RoHS6物質の測定データ]、[化学物質含有情報シート]の提供

## サプライチェーンマネジメント

お客様により安全な信頼性のある製品をお届けするため、お取引先様各社の協力を得て、サプライチェーンを含めたより良い環境システム、品質システムの構築に努めています。2014年度は、15社の原材料購入先、委託加工先、運送委託先、産業廃棄物処理委託先の環境を含めた品質監査を実施し、改善にご協力いただきました。



## お取引先様の声

株式会社カネカ  
代表取締役社長  
かどくら まもる  
角倉 護 様

リケンテクノス様と当社は創業が近く、お互いに長きにわたり塩ビ事業に携わってきております。当初は御社蒲田工場での塩ビ強化剤のご採用に始まり、続いて塩ビ樹脂の納入を開始させていただきました。また、リケンテクノス様は技術力を武器に国内のみならず、いち早くグローバルに事業を展開されております。当社も化学メーカーの中では早くに海外展開を実施してきており、まさしく「技術」と「グローバル」が両社共通のキーワードであると言えます。現在では北米およびアジアの工場とも当社の現地工場から直接納入させていただいております。リケンテクノス様は新たなグローバル展開もご検討されております。当社もグローバルパートナーとしてリケンテクノス様に選ばれ続けるよう、原材料、強化剤の技術を強化していく所存です。

花王株式会社  
代表取締役 社長執行役員  
さわだ みちたか  
澤田 道隆 様

リケンテクノス株式会社様とは、貴社の基幹である塩ビコンパウンド事業に長年にわたりお取引させていただいております。貴社の塩ビコンパウンド事業は、高い技術力と製品開発力により、グローバル市場で高い評価と信頼を獲得されておられます。弊社は、自動車分野でのワイヤーハーネスの軽量化による省燃費のニーズや医療分野での更なる作業性を改良した高品質塩ビコンパウンド技術のニーズにお応えするべく、植物系天然アルコールをベースとした各種樹脂添加剤を供給させていただいております。これからも貴社が目指す社会や環境に調和した製品開発に対しまして、弊社ケミカル製品を通じて新しい価値の創造に貢献できますよう、一緒に取り組んでまいりたいと考えております。

株式会社クラレ  
代表取締役社長  
いとう まさあき  
伊藤 正明 様

弊社は貴社の積極的なグローバル展開に伴い、北米・アジアで多くのお取引をさせていただいておりますが、貴社とのお取引は弊社が熱可塑性エラストマー製品を上市した1990年初頭に遡ります。弊社が事業化した初期段階において、貴社の創造的な用途開発プロセスに参加することができ、この市場の将来性を確信いたしました。特に、貴社の市場ニーズと環境に配慮した製品開発方針と先見的な技術力は、弊社エラストマー事業における技術開発の方向性の指針となりました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。今後とも、貴社の事業展開の一翼を担う良きパートナーとして、社会と環境に配慮した製品とサービスを提供できるよう、貢献してまいりたいと存じます。

## ◆ 運用

原材料・副資材は、環境関連物質中の含有禁止物質が含まれていない、あるいは管理すべき物質の含有量が把握されているものを調達していきます。また、評価結果により、お取引先様に対しより安全で環境負荷の少ない原材料・副資材への改善をお願いする場合があります。

## ◆ グリーン購入基準

## ● 適用範囲

当社の本社・支店・営業所・工場・研究開発センターで購入または

借り受ける紙類等の文具、コピー機・パソコン等のOA機器や自動車等。

## ● 要求事項

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に準じた環境負荷が少ない、有害物質を含有しない等の基準を満たすこと。

## ● 運用

お取引先様には、積極的にエコ商品を紹介してさせていただきますようお願いしています。

## 物流における環境への取り組み

- 自動配車組みシステムによる積載効率の向上を目指します。
- 製品納入の帰り車の利用による実車率の向上を目指します。
- 物流拠点の統廃合を行っていきます。
- 省エネ法による特定荷主としての義務を果たしていきます。中長

期的にみてエネルギー消費原単位を年率1%低減が目標です。

- ユーザーからのパレットの回収による購入枚数の削減、森林資源保護のためプラスチック製への変更を推進していきます。
- グリーン物流促進事業へ参加していきます。

## ◆ 品質安全活動

- 提携運送会社によるISO9001の認証取得、Gマーク(安全性優良事業所)の認定取得を推奨しています。

## 竜山急送株式会社

## グリーン経営認証

登録日:2007年1月19日

有効期限:2017年1月18日

## ISO9001登録証

登録日:2003年5月9日

有効期限:2018年5月8日

## 株式会社モテギ

## Gマーク登録証

登録日:2007年12月20日

有効期限:2015年12月31日

## ISO9001登録証

登録日:2000年3月10日

有効期限:2016年4月1日

● 輸送量とCO<sub>2</sub>発生量

輸送	2012年度結果	2013年度結果	2014年度結果
輸送量(t・km)	31,301,000	28,189,000	25,248,700
CO <sub>2</sub> 発生量(t-CO <sub>2</sub> )	5,433	4,911	4,400

## ISO14001登録証

登録日:2004年10月29日

有効期限:2016年4月1日

# 地域の皆様とのかかわり

リケンテクノスグループでは、各事業所の地域社会との共生のために様々な取り組みを行い、事業活動へのご理解をいただいています。

## 地域の皆様との交流

### ◆ 埼玉工場

- 近隣住民との懇談会(年1回)
- 中学生・高校生の職場体験の実施
- 深谷市おかベコスモス祭への協賛
- 深谷市おかべふれあいカーニバルへの協賛
- ふかやしティアーフマラソンへの協賛および参加
- 近隣自治会の夏祭りへの協賛
- 深谷市岡部地区体育祭への協賛
- 地域グランドゴルフ大会への協賛
- 献血の実施(年2回)
- 工場周辺、最寄駅までのゴミ拾い
- 深谷地区防火安全協会および深谷市消防本部主催「自衛消防隊屋内消火栓操法指導会」への参加



埼玉県深谷市  
イメージキャラクター  
「ふっかちゃん」



埼玉工場 深谷市イメージキャラクターの「ふっかちゃん」のPRのため深谷市長が来場されました。

### ◆ 三重工場

- 近隣住民との懇談会・工場見学の受け入れ(2年1回)
- 中学生・高校生の職場体験の実施
- 亀山市納涼大会・駅伝大会への協賛および参加
- 関宿の納涼花火大会への協賛
- 近隣自治会主催子供祭りへ寄付金贈呈
- 献血の実施(年2回)
- 亀山ハイウェイオアシス館へ展示品の提供
- 赤い羽根共同募金へ寄付金拠出(年1回)
- 亀山音楽祭(亀山ミュージックジャンボリー)への協賛
- 工場周辺で交通巡視の実施
- 「福祉のめんめんフェスタ2015」(心のバリアフリー活動)協賛
- 第53回交通安全国民運動中央大会 交通安全優良団体賞受賞(全国44団体)
- 高校生による工場見学の受け入れ



埼玉工場 こどもみこし



埼玉工場 深谷地区防火安全協会および深谷市消防本部主催「自衛消防隊屋内消火栓操法指導会」



ふかやしティアーフマラソンへの参加



三重工場 亀山市納涼大会



三重工場 こどもみこし



三重工場 交通巡視

## ◆ 群馬工場

- 地域自治会主催の夏祭りへの協賛

## ◆ 研究開発センター（東京）

- 南六郷二丁目会の祭礼への協賛

## ◆ 本社

- べったら市開催に伴う恵比寿神社祭への献灯



べったら市の様子

## 地域の環境を守るために

リケンテクノスでは、環境を守るため、ボランティア活動など様々な取り組みを行っています。

## ◆ 埼玉工場

- 工場周辺ゴミ拾い(月1回)
- 岡部駅までの線路沿いゴミ拾い(年2回)
- ゴミの分別による廃棄物削減
- 納入業者、社員駐車場のアイドリングストップ指導、実施



埼玉工場 工場周辺ゴミ拾い

## ◆ 三重工場

- 工場周辺道路および河川敷の清掃活動(年2回)
- 亀山市主催清掃ボランティア活動への参加(年2回)  
(川と海のクリーン大作戦・不法投棄禁止キャンペーン)
- (春季・秋季)緑の募金へ寄付金拠出(年2回)  
主催団体:(社)三重県緑化推進協会
- かめやま会故(エコ)の森環境整備活動への協賛および  
森林整備ボランティア活動へ参加(年4回)
- 環境省主催ライトダウンキャンペーンの実施



三重工場 不法投棄禁止キャンペーン

## 地域の皆様とのかかわり



三重工場 かめやま会故(エコ)の森、環境整備活動



三重工場 工場周辺ゴミ拾い

### ◆ 群馬工場

- 安全パトロール時に工場周辺公道のゴミ拾い(隔月)
- リサイクルを意識したゴミの分別排出
- 省エネ活動の推進
- 太陽光発電による再生可能エネルギーの使用
- 太陽光発電電力の売電により広義でのCO<sub>2</sub>削減に貢献

### ◆ 研究開発センター (東京)

- 研究開発センター周囲のゴミ拾い(年2回)
- リサイクルを意識したゴミの分別排出
- 省エネ活動の推進(通年)
- PCB関連をすべて処分完了

## 社会への貢献

米国のリムテックコーポレーションとリケンエラストマーズコーポレーションでは、毎年「ユナイテッドウェイ」\*1の募金活動に参加しています。

また、米国のリケンエラストマーズコーポレーションでは、地域の商工会議所の会員として様々な活動を行ったり、学校で教育活動に参加したり寄付を行っています。

### ユナイテッドウェイによる中小企業賞を受賞しました。

米国のリケンエラストマーズコーポレーションが、ユナイテッドウェイによる相互支援中小企業賞を受賞しました。ペニーライルユナイテッドウェイのジェニファー・マドー氏は、「リケンエラストマーズコーポレーションの寄付は毎年増えています。また、社員にもユナイテッドウェイの活動に参加できる機会を与えており、中でもローラ・トーマスさんのリーダーシップが今回の受賞のきっかけになりました。」とスピーチで述べられました。



ジェニファー・マドー氏がリケンエラストマーズコーポレーションを訪れ、梶山社長に賞を授与しました。

\*1 ユナイテッドウェイ:アメリカで最大規模の募金組織  
\*2 ゲートウェイアカデミー:子供たちをサポートする団体



## ゲートウェイアカデミー\*2での活動

ゲートウェイアカデミー主催のプロジェクトにリケンエラストマーズコーポレーションのローラ・トーマスさんとジェラルト・ベネットさんが参加しました。今回は橋梁設計がテーマで、このプロジェクトを通じて数学、工学、英語などを学ぶようになっています。学生たちは模型製作を行い、手順を議論したり、コストを算出したりします。

ローラ・トーマスさんは、「技術革新に向けたゲートウェイアカデミーの取り組みは、当社をはじめとした他の地元企業へ将来有望な人材を提供してくれるものと信じています。私たちも人とお金の両面でこのアカデミーを支援し続けたいと思っています。」と語ってくれました。

## インターンシップ

未来を担う高校生のために職場体験・インターンシップを積極的に実施しています。埼玉工場・三重工場ともにフィ

ルムの製造工程、および設備保全の実習などを体験していただきました。

2015年1月に実施した埼玉工場での職場体験記をご紹介します。  
フィルム製品、家庭用ラップの製造工程、およびエンジニアリングでの実習を体験していただきました。

### 埼玉工場 埼玉県熊谷工業高等学校 電気科 生徒代表

私は4日間のインターンシップを行いました。  
初日から3日間は、フィルム製造部門で製造されたフィルムのサンプル採取と梱包作業等を体験させていただきました。担当の方に一から優しく教えていただいたので、2日目、3日目は初日ほど戸惑うことはなかったです。  
インターンシップ期間中、社員食堂で食べたお昼ごはんはとてもおいしくて食べごたえがありました。  
この4日間怪我などなく、無事に通うことができ、とても充実した日々を送ることができてよかったなと思いました。今回のインターンシップで体験したこと、教えてもらったことを忘れず、これからの自分の進路を考えるための参考にしていきたいと思っています。



埼玉工場での職場体験

### 埼玉工場 埼玉県熊谷工業高等学校 機械科 生徒代表

私は今回のインターンシップで、多くのことを学び取ることができたと思います。  
体験の前、リケンテクノス様にお世話になると知り、どのような企業なのか調べてみました。すると、想像以上の大企業で、私は本当にこの会社で働けるのだろうかと少し不安に思いました。しかし、いざインターンシップが始まると最初は緊張しましたが、社員の方々が優しく丁寧に指導してくださったため、落ち着いて仕事に取り組むことができました。  
仕事は、フィルムの梱包作業を中心に行いました。たるみやしわのないように行うのが難しく、社員の方が素早くきれいに梱包しているのを見て、すごいなと感じました。フィルムの生産過程を教えていただき多くの驚きがありました。  
この4日間は、非常に充実したものとなりました。お世話になった総務課、フィルム製造二課、エンジニアリング部をはじめとする社員の皆様、本当にありがとうございました。



埼玉工場での職場体験

# 従業員とのかかわり

リケンテクノスグループでは、社員一人ひとりが「仕事を通じて成長する」ことを目指しています。また、より良い環境で働くことができるよう様々な制度を設けています。

## 管理本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社  
取締役 管理本部長 兼 総務部長  
入江 淳二

リケンテクノスの2015年度に最終年度を迎える3か年中期経営計画では、主要課題のひとつとして「徹底した人材育成」を掲げています。

グローバル展開を支える重要な要素である「グローバル人材育成強化」のために、技術・営業・製造のみならず全部門において、年齢を問わず様々な海外業務経験を積む機会を創設し、チャレンジさせるよう取り組んでいます。現在では、当社グループ海外拠点に40名程の本邦社員が常駐し、出張者も含め多くの社員が海外業務に携わる機会は着実に増える一方で、社員の意識面では「国内と海外の垣根」は低くなっている、と実感しています。真の「グローバル=ボーダーレス」企業を標榜し、当社グループの企業価値向上を図るべく邁進してまいります。

## 経営層の育成

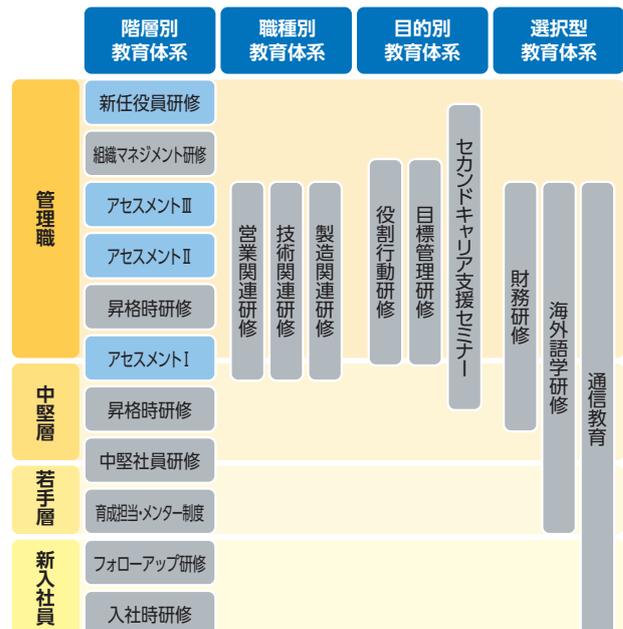
経営補佐層の方々を対象に「組織マネジメント研修」を実施しています。戦略的思考とプロセス管理能力の獲得を目的

とし、各プロジェクトを成功させるべくアクションラーニングを行っています。

## 人材育成の考え方

企業の成長は、社員一人ひとりの成長によって支えられています。「私たちは応援します！自ら成長しようと努力するひとを！」をスローガンに、努力している社員を応援し、社員も会社も成長していく相互成長の関係を築ける体制づくりを行っています。その施策として、自己申告制度を導入して一人ひとりの志望・要望と元気度などを面談を通じて把握し、より成長できる環境づくりにつなげています。また、会社の求める人材像として「自立・創造・実践できる人」を掲げ、各人が役割に応じた行動を確実に実践するように人事制度上も役割行動考課を導入し、「仕事を通じて成長する」ことを図っています。これらの活動を通じて、社員一人ひとりが成長し、会社が目指している高付加価値型企業基盤の確立の実現へつなげています。

### ● リケンテクノス教育プログラム





埼玉工場でのパソコン教室。パソコンに触れる機会の少ない製造部門所属の社員が主に受講し、業務効率化につなげています。



三重工場での英会話初級コース。ベンジャミン先生と受講生たち。

## 「もの造り」の継承

リケンテクノスでは、世界中どの国でも同じ品質の製品を生産できるよう、海外関係会社の現地スタッフへの教育を実施しています。2014年10月からは、インドネシアにあ

るPT.リケンインドネシアから3名の実習生を受け入れ、三重工場で研修を行っています。



PT.リケンインドネシア  
ジャファル・シヨディック さん

私はこちらでたくさん学ぶことができます。帰国後はインドネシアでも適用したいです。

例えば、安全のためのルールを守ったり、5Sを良くしたり、継続的改善をしています。5Sはゴミの種類をはっきり分けたり、予備部品を整理整頓して探しやすいしたりしています。また作業場を清掃しています。安全のことは、危険な場所でケガをしないように、標識がかけられています。

日本は先進国なので、こちらで仕事をしたい人が大勢います。その中で私は日本で技術を学ぶことができ幸運だと思います。



PT.リケンインドネシア  
スル・ヤディ さん

リケンテクノスに来て本当にびっくりしました。リケンインドネシアとすべてがずいぶん違います。例えば、ここにはロボットがあるので作業しやすいです。一人でも簡単に掃除ができます。リケンインドネシアではロボットがないので、掃除する時には二人でもできなかったです。

会社の方は、すべての人が同じように仕事をします。総務や管理の仕事の人も掃除をします。リケンテクノスで働く前までは、こんな光景を見たことがありませんでした。感動しました。他にも新しい経験がたくさんあるので、言葉で説明ができませんが、会社の方はいつも心遣いをしてくださるので、本当にとてもうれしいです。感謝しています。



PT.リケンインドネシア  
ソリ・ヒン さん

リケンテクノス株式会社は、大きくてすごい会社です。色々な機械や製品があります。工場の中は広くて綺麗です。5Sのルールがあります。製品の品質を上げるためにいつも改善しています。会社の人は皆とても優しいです。2年間、こちらで実習して頑張ります。



三重工場での歓迎



日本語教室の様子

※本人による日本語のコメントです。

# 従業員とのかかわり

## 子育て支援

### ◆ 育児休業制度

最長2年間の休業ができます(男性も取得可能)。さらに育児休業の最初の3日間は有給とし、男性も取得しやすくなりました。現在、3名の社員が利用しています。



技術本部 研究開発センター  
管理グループ  
たいら くにく  
平 邦子 さん

産休・育児休暇をいただき、4月より復職いたしました。当初、子育てと仕事の両立には不安がありましたが時短勤務で働かせていただき、子供の急な病気等にも理解と協力をいただき、そういう環境の中で仕事ができることにとっても感謝しています。本当に毎日が慌ただしく過ぎていきますが以前よりとても充実した毎日が送れています。仕事と育児の両立を楽しみながら、子供とともに私も成長していけたらと思っています。

### ◆ 育児短時間勤務制度

育児をしている社員が、1日6時間まで勤務時間を短縮できます。家庭や保育園などの個別事情に応じた働き方が選べます。小学校入学前まで利用できる制度です。現在は3名の社員が利用しています。



技術本部 研究開発センター  
第5開発室  
やまだ まみこ  
山田 麻美子 さん

1年5か月の産休・育休を経て復職しました。2時間の時短による時間的制限はありますが、開発者として出産前と同様の業務を行っています。仕事の達成感と人間関係は良い刺激となり、子育ての心の余裕にもなっています。保育園にすっかりなじんだ娘は、いいことも悪いことも覚えてきて、日々驚かされます。大変なこともあります。同僚と夫の協力には本当に感謝しています。

## 社員の多様性への対応

当社は社員の多様性、人格、個性を尊重し、人権および雇用機会均等などにも配慮をしています。当社では女性が活躍できるような様々な取り組みをしており、現在、女性社

員の管理職もいます。また、外国人の採用も積極的に行っています。

## 再雇用制度

定年(60歳)を過ぎた従業員の更なる活躍は、会社にとっては技能伝承の面で、社員にとっては生活の安定という面で、双方にメリットがあります。そこでリケンテクノスでは

2006年度から組合員層、管理職層を対象にした再雇用制度を導入しています。

## 表彰制度

リケンテクノスでは表彰規程や職務発明制度を設けています。業務の効率化や企業体質の改革、社員のモチベーショ

ン向上につながる改善提案、発明などに対して表彰を実施しています。

## 経営理念の浸透

経営理念である「リケンテクノス ウェイ」を社員に浸透させるため4つの制度を設けています。そのうちのひとつ「チャレンジプロジェクト」制度では、2012年に始動した第1号案件が2015年3月に完了し、成果が認められ社長より表彰されました。また、「サンキューカード」制度は、社員同士で感謝の気持ちを表すもので、海外拠点でも導入が進んでいます。サンキューカードを多くもらった社員への表彰も行っています。



チャレンジプロジェクト第1号案件の役員へのプレゼンテーション



チャレンジプロジェクト第1号案件で、清水社長から表彰されるプロジェクトメンバー。左から、エンジニアリング部 埼玉グループ 矢嶋 俊亨さん、プロジェクトリーダーの技術本部 研究開発センター 第3開発室 清水 陸男さん、清水社長、三重工場 コンパウンド製造二課 鳥居 靖宏さん



清水社長から表彰されるシステム開発部の小日向彩海さん「社員の方からの業務依頼の受け付けは私ですが、実際にはシステム開発部のメンバーや先輩方も一緒にやってくれたんです。でも、賞をいただけて素直にうれしいです！」2014年度でサンキューカードを一番多く贈られました。

## 安全衛生活動

### 安全衛生の考え方

当社は、人間尊重を基本とし労働安全衛生を企業活動の最も重要な基盤のひとつと考え、健康で安全な職場環境の維持向上に努めます。

### 「リスクアセスメント」による危険・有害源撲滅活動の定着

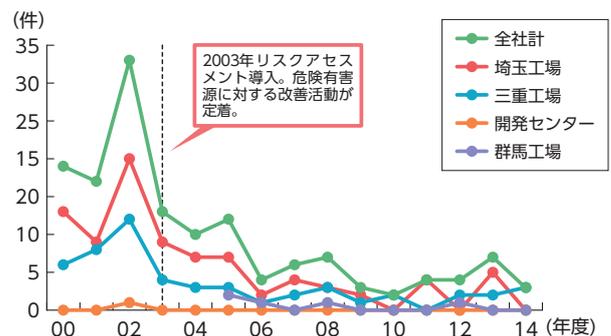
2003年にリスクアセスメントを導入後、職場に潜在している危険・有害要因を排除・隔離し、リスクを低減させる未然防止型の改善活動が定着しました。

「災害ゼロ」から「危険ゼロ」となるように、安全意識向上と危険改善・システム改善の活動を全員参加で進めています。

### 労災件数

最近の労災件数は、2012年度4件、2013年度6件、2014年度は3件でした。

### ● 全社労災トレンド(休業+不休)



### 活動の見直し

2014年度は、作業員の方へ安全意識調査の実施・安全映像教育資料による再教育・指差呼称の見直し等々に力を入れました。今後、危険体験機器を活用した教育、化学物質管理、指差呼称の風土化に力を入れていきます。

### ● ヒューマン・エラーによる災害の防止

究極の目標である「災害ゼロ」「危険ゼロ」を達成させるための今後の取り組みとして、人的要因(ヒューマンファクター)に起因する災害を予防していきます。

人はなぜミス・エラーするのか、真の原因を究明し予見される誤使用に対し基本的な安全および安全防護についての措置をとっていきます。

# 従業員とのかかわり

## 取締役メッセージ



リケンテクノス株式会社  
取締役  
リケンタイランドカンパニーリミテッド  
マネージングダイレクター  
おおこうち よしたか  
**大河内 義孝**

### リケンタイランドカンパニーリミテッド 従業員とのかかわりを強化するために

リケンタイランドカンパニーリミテッドは、従業員とのかかわりを強化するために、従業員のご子息・ご息女の勉学意欲を高めてもらうことを目的に、応募者の中から、厳正な審査を実施し、奨学金を毎年授与してまいりました。今年も13名が選ばれ、工場にて授与式を行いました。また、子供たちからお礼のお手紙もいただき、工場内に掲示しています。従業員は、子供たちの素直な声を受けとめることで、自分自身も「仕事を通じて成長」することを目指しています。

## 奨学金制度

社員の子供たちの勉強を支援するために、リケンタイランドカンパニーリミテッドでは、奨学金制度を設けています。

この制度は、今年で7年目を迎え、2015年度は13名に付与しました。

### リケンタイランドカンパニーリミテッドの2015年度奨学金を受けた皆さん

#### 奨学金を受けた子供たち



パッターポーン  
ブッパーシャート ちゃん  
小学  
1年生



医療用製造係員  
サーティッス パートーン  
のお子さん

コンキャット  
ホンカナーク くん  
小学  
2年生



R&D係員  
シャンヤティッス ホンカナーク  
のお子さん

スピッシャヤー  
ブットペット ちゃん  
小学  
2年生



総務係員  
サポート キャンカウ  
のお子さん

チュラーポーン  
シラパウォン ちゃん  
小学  
3年生



医療用製造係員  
ラーメース シラパウォン  
のお子さん

ララナー  
カムピシット ちゃん  
小学  
3年生



物流係員  
ウィシヤイ カムピシット  
のお子さん

キッティポップ  
ラックサンシャート くん  
小学  
3年生



医療用製造係員  
メーティー ラックサンシャート  
のお子さん

シャンヤー  
トントーン ちゃん  
小学  
4年生



医療用製造係員  
クリアンサック トントーン  
のお子さん

スリワット  
シヨムシューン くん  
小学  
4年生



一般用製造係員  
タノンサック シヨムシューン  
のお子さん

ショーパカー  
ラウピデーチ ちゃん  
小学  
4年生



QA係員  
アノーシャー ラウピデーチ  
のお子さん

ナッタニシャー  
プームコーンサーン ちゃん  
小学  
4年生



医療用製造係員  
アーティット プームコーンサーン  
のお子さん

サローシャー  
シュムシャート ちゃん  
中学  
2年生



医療用製造係員  
モントリー シュムシャート  
のお子さん

ポーンシニー  
クーンラーン ちゃん  
高校  
3年生



一般用製造係員  
プライロージ クーンラーン  
のお子さん

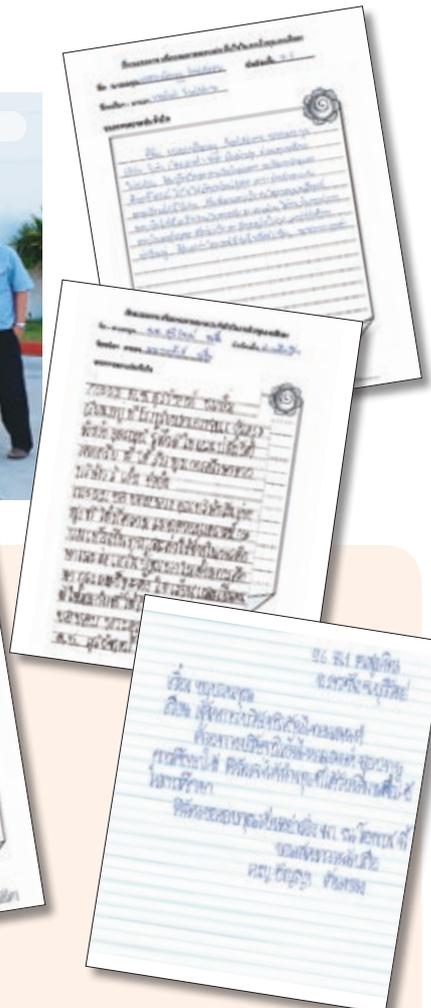
パニットナート  
チャンサガーガーム ちゃん  
高校  
3年生



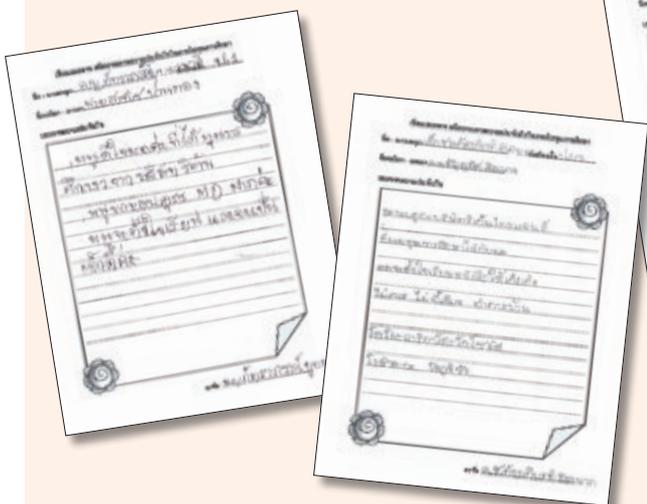
医療用製造係員  
ワサン チャンサガーガーム  
のお子さん



2015年奨学金付与式



代表者からのメッセージ



- リケン様から奨学金を頂戴し、とても嬉しいです。M.D.様、有難うございました。私は一生懸命に勉強し、良い子になります。パッターポーン プッパーシャート

- 僕はスリワット ショムシューンです。ウドンターニー県のノンハーン(ワンクルー) 学校で勉強しております。リケン様から奨学金を頂戴し、とても嬉しいです。会社が僕を優しくして下さい、大変感謝しております。この奨学金は勉強の資金になり、勉強に払えるようにし、勉強の推進になります。僕は一生懸命に勉強し、会社から頂戴した奨学金に値する良い子になります。大変有難うございました。スリワット ショムシューン

- リケン(タイランド)様が奨学金を下させて頂き、有難うございました。私はとても嬉しいです。私は一生懸命に勉強します。頂戴した奨学金を次の勉強のために保管します。ララナー カムピット

(現地社員による日本語訳です)

- リケン タイランド様が奨学金を下させて頂き、私はこの頂戴した奨学金を勉強に使用いたします。この度、ご感謝申し上げます。シャンヤート トーン

- リケン タイランド様、僕に奨学金を下させて頂き、有難うございました。僕は一生懸命に勉強し、父と母の言うことを聞いて、宿題をするのに怠けないで、優秀になりたいと思います。コンキャット ホンカナーク

- 私はパニットナート チャンサガーガムと申します。リケン(タイランド)様、私に奨学金を下させて頂き、真に有難うございました。私は嬉しくて大変感動しました。私は今回受取った奨学金を最も有効に使用し、良い成績をずっと保ちます。この奨学金プロジェクトは良いプロジェクトであり、父母の負担を軽減させたり、子供の勉強を推奨したり、勉強の動機付けになったりするため、色んな面有用で、印象に残ります。この良いプロジェクトが継続されることを望みます。有難うございました。パニットナート チャンサガーガム

- 奨学金を下さって、有難うございました。私は一生懸命に勉強します。母と父の良い子になります。スピツシャヤー ブットペット

# 環境管理活動

## 環境方針

あらゆる企業活動において環境との調和に配慮し、地球環境の保全と持続可能な社会を実現するために、環境マネジメントシステムを構築し、全員参加のもとに次の事を実施します。

- ① 事業活動において、環境法規及びその他の合意事項の遵守のみならず、自ら規定類を定め、環境管理レベルの継続的改善、環境汚染の予防を推進します。
- ② 安全性の確保された原材料を使用し、省エネ・省資源型製品、リサイクル適合製品、生態系への負荷の少ない製品等の環境に配慮した、さまざまな素材のプラスチック製品等を社会に供給します。
- ③ 可能な限り無駄を削減し、原材料の有効利用、使用エネルギーの極小化に努め、二酸化炭素排出量の削減と産業廃棄物の削減を行い、地球環境・生態系への負荷を軽減します。
- ④ 環境方針を含め社内規定類を文書化し、社員への教育・啓蒙活動により、継続的な環境保全活動の定着化を図ります。
- ⑤ 環境方針達成のために環境目的及びできる限り数値化した目標を設定し、定期的に自己評価を行い、進捗を適時管理します。
- ⑥ 以上の活動を当社グループの活動に結び付け、各拠点における地域環境・生態系保全に最大の配慮を行い、安全な操業を確保します。
- ⑦ 適切かつ正確な情報開示を行い社会からの信頼と理解を得ることに努めます。

## ISO14001 認証取得

環境方針を設定し、全社全部門にて同規格を認証取得しています。

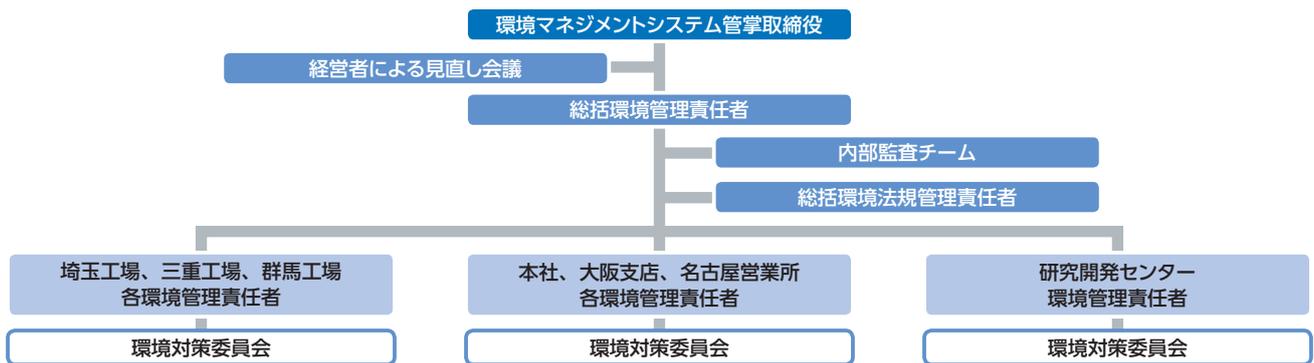
初回登録 2001年10月31日 有効期限 2016年8月30日

環境との調和に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会の実現に貢献し、すべてのステークホルダーからの信頼に応え得る企業の構築に取り組んでいます。

## 環境マネジメントシステム

### 環境マネジメントシステム組織図

環境マネジメントシステム管掌取締役がトップに立ち、総括環境管理責任者の指揮のもと、各サイトに環境管理責任者を置き環境マネジメントシステムを構築しています。



### 推進体制

環境に関する主要な会議、委員会等の構成メンバー、機能を示します。

会議、委員会名	構成メンバー	機能
経営者による環境マネジメント見直し会議	全取締役、総括環境管理責任者	方針、目的および環境マネジメントシステムの妥当性評価
内部環境監査チーム	有資格内部監査員	適合性監査の実施
環境対策委員会	環境管理責任者、各部門長、各部門委員	環境目的・目標の設定、是正処置・予防処置の審議、環境問題の審議



## 総括環境管理責任者と環境管理責任者の役割

全社総括管理と各サイト管理の責任を明確にしています。

責任者名	役職名	役割
総括環境管理責任者	マネジメントシステム部長	全社の環境マネジメントシステムの構築・実施・維持
総括環境法規管理責任者	マネジメントシステム部長	環境関係法規等の管理
環境管理責任者	サイトの責任者(工場長等)	サイトの環境マネジメントシステムの構築・実施・維持

## 環境監査の体制

### (1) 内部監査

総括環境管理責任者の指示のもと、約100名の内部監査員によって毎年1回、品質、製品安全、化学物質管理をはじめとした環境マネジメントシステムの内部監査を行っています。2014年度は59部署で監査が実施され、21件の是正処置要求書が発行され、観察事項を含めると105件の指摘件数がありました。なかでも文書管理の不備が多く見受けられました。是正処置の実施により引き続きマネジメントシステムの改善・確実な実施を図っていきます。

### (2) 外部監査

外部審査機関の日本海事検定キューエイ(株)による定期審査を、本社と埼玉工場サイトを対象に受審いたしました。2014年度は、軽微な不適合1件、改善事項5件の指摘がありました。設備点検に関する担当者教育や廃棄物コンテナ適正表示等について取り組みました。

また、指摘事項につきましては、適切に改善を実施しました。

## 緊急時対応

各サイト・各部門で想定しうる緊急事態を定め、緊急事態対応一覧表を作成し、定期的に訓練を実施しています。

当社は多量の化学物質・消防法危険物を原材料として購入・使用しています。そのため、化学物質の社外への流出防止および消防法危険物起因の火災予防を最重点課題として取り組んでいます。2014年度は少量の樹脂の漏洩がありましたが、工場外への流出はなく、訓練どおり対処されました。

## 従業員の環境教育・啓発の実施状況

2008年度から、エネルギーの大切さ、地球温暖化(二酸化炭素排出削減)への意識向上を図ることを目的に、従業員とその家族を対象に、日常生活における「エコライフDAY」アンケートを実施しています。2014年度は従業員とその家族から(夏:1,474名、冬:1,480名)回答が寄せられ、一人当たりの平均二酸化炭素削減量は(夏:760g-CO<sub>2</sub>/日、冬:960g-CO<sub>2</sub>/日)でした。また、CSR報告書を社員全員に配布し、一人ひとりの活動結果がおよぼす当社全体への影響を理解するよう啓発しています。

	参加者数(名)	削減量(g-CO <sub>2</sub> /人・日)
2012年度夏	1,341	723
2012年度冬	1,211	835
2013年度夏	1,432	837
2013年度冬	1,576	750
2014年度夏	1,474	760
2014年度冬	1,480	960

## 事業活動に係わる環境法規・協定

各生産拠点、各営業拠点での遵守すべき環境法規・協定等およびその概要を「環境適用法規基準」にて明確にし、環境法規の遵守を徹底しています。2014年度の活動の結果、環境に関する法規・協定に対する違反はありませんでした。

### ● 拠点ごとの遵守すべき環境法規・協定等の件数

埼玉工場	36件	大阪支店	4件
三重工場	33件	名古屋営業所	5件
群馬工場	28件	研究開発センター	24件
本社	4件		

# 活動結果の概要

## 製造本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社  
取締役 製造本部長 兼  
ソリューションビジネスユニット  
マネージャー

たさか みちひさ  
田坂 道久

リケンテクノスはもの造り力を強化するために、革新的な製造方法にチャレンジできる風土づくりと海外でも活躍できる人材育成を推進しております。

製造本部は、作業環境改善、エネルギー効率向上、人材活性化を意識した取り組みを行っていきます。

本年も、引き続き「労災ゼロ、不良ゼロ、重故障ゼロ」を目標に、もの造り力の強化に取り組んでいきます。また、既存設備のモーター効率アップ、オペレータ視点による作業性の見直しにより、「スピード2倍、コスト1/2」を目標に、品質向上を図りながら熾烈なコスト競争にチャレンジしていきます。

加えて、各工場では、生産の省力化を行うために、多能工化を推進し、また改善活動の競争意識向上のために、海外拠点と情報交換できるグローバル人材の育成を加速させていきます。

## 2014年度環境目標と実績

当社は毎年環境方針を基に、事業環境に見合った環境目標を設定し、改善活動を進め、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量削減、産業廃棄物の排出量削減そして化学物質の管理強

化を主テーマとして全社横断的に取り組んでいます。

2014年度は、全社各部署合計で101件の目標が設定され、74件(73%)が達成されました。以下に詳細を示します。

### (1)エネルギー源使用量削減

目標設定件数	達成件数	目標	結果
38	30 (79%)	①電気使用量の生産量比 2012年度比2%削減 ②重油使用量の生産量比 2012年度比2%削減 ③CO <sub>2</sub> 排出量の生産量比 2012年度比2%削減 ④総CO <sub>2</sub> 排出量 2012年度比2%削減	①2.9%削減 ②2.4%削減 ③5.0%増加* ④7.6%増加* *電力のCO <sub>2</sub> 排出量換算係数が大幅に大きくなったためです。

### (2)廃棄物削減

目標設定件数	達成件数	目標	結果
27	18 (67%)	埋立・燃焼廃棄物の総生産量比:0.3%以下 総廃棄物の生産量比:4%以下	埋立・燃焼廃棄物の総生産量比は0.13%で目標をクリア、総廃棄物の生産量比は4.15%であったため、更なる努力をいたします。

### (3)①化学物質管理の強化と②環境配慮型製品の開発

目標設定件数	達成件数	目標	結果
① 16	15 (94%)	独自に指定した化学物質の使用削減、環境配慮製品の開発。	化管法第一種指定化学物質の2014年度使用量は1,970tで、2013年度比12%削減しました。
② 20	11 (55%)		

\*単純廃棄物:単純に埋立あるいは燃焼処理された廃棄物

## リケンテクノスの環境負荷の状況

当社の事業活動からは、産業廃棄物の排出、温室効果ガス(二酸化炭素)の排出、化学物質の排出・移動が大きな環境負荷項目として挙げられます。各々排出削減や適正管理に努めています。リケンテクノス全事業所(単体)での環境負荷実態を記載します。

### ● 生産に係わる製品1トン当たりのCO<sub>2</sub>負荷量(2014年度)

インプット		アウトプット		CO <sub>2</sub> 負荷量 (t-CO <sub>2</sub> /t)
原材料(塗料等含む)	81,000t	コンパウンド製品	59,000t	
梱包資材	3,000t	フィルム製品	13,500t	
電気	65,600MWh	包装用ラップ製品	7,000t	
重油	3,260kl	総廃棄物	3,600t	
水道水	137,000m <sup>3</sup>	排水量	268,000m <sup>3</sup>	
地下水	160,000m <sup>3</sup>			
工業用水	9,800m <sup>3</sup>			

## 省エネルギーと温室効果ガスの排出削減

当社は埼玉工場、三重工場が第一種エネルギー管理指定工場に指定され、群馬工場は第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

当社の事業活動から生じる温室効果ガス\*1の主なものはCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)です。

また空調機の冷媒フロンは温室効果ガスであり、使用・廃棄時に漏れがないよう管理の徹底を図っています。

設備の稼働効率向上、蓄熱式脱臭炉導入、空調機のデマンド制御\*2導入、工業用圧縮空気・蒸気の漏れ防止管理等の省エネ活動を推進しています。

長年、CO<sub>2</sub>排出量削減に主眼において目標を展開してきましたが、近年、電力に関するCO<sub>2</sub>換算係数が大きく変動す

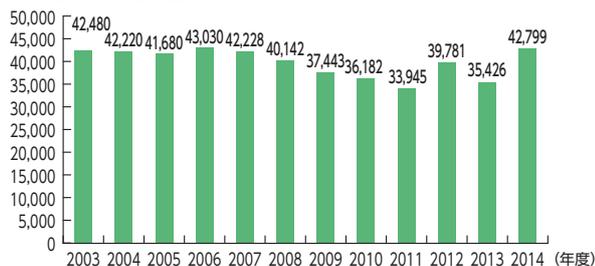
ることから、2014年度より、2012年度を基年度として、エネルギー源使用量の生産量比、毎年1%削減を目標に取り入れました。2014年度は2012年度比で、電気使用量の生産量比2.9%削減、重油使用量の生産量比2.4%削減を達成しました。

2012年度末、群馬工場の隣接地に再生可能エネルギーである太陽光発電設備を導入しました。2014年度は、群馬工場に72,679kWh供給し、728,748kWhを売電しました。



リケンテクノス株式会社  
ソーラー発電所(群馬工場の敷地内)

### ● 二酸化炭素排出量(t-CO<sub>2</sub>)

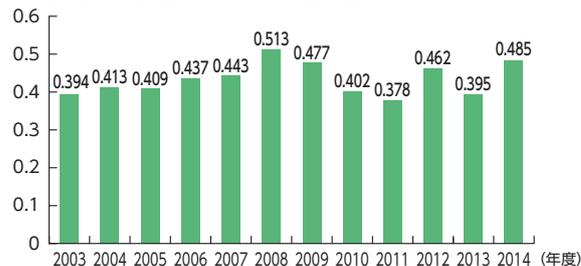


※ 2010年度から調整後の排出係数を使用した値です。

\*1 温室効果ガスは、埼玉工場、三重工場、群馬工場、研究開発センター、本社および各営業拠点で使用した電気、重油等の消費によるCO<sub>2</sub>排出量を算出しました。2005年より本社を、2008年度より各営業拠点を含みCO<sub>2</sub>排出量を計上しています。物流における石油燃料消費のCO<sub>2</sub>排出量は除いています。

\*2 空調機のデマンド制御とは、電力会社との契約電力の最大値に近づいた時、自動的に空調機の圧縮機を停止させ電力の消費を抑える制御方法をいいます。

### ● 二酸化炭素排出量の生産量比排出量(t-CO<sub>2</sub>/t)



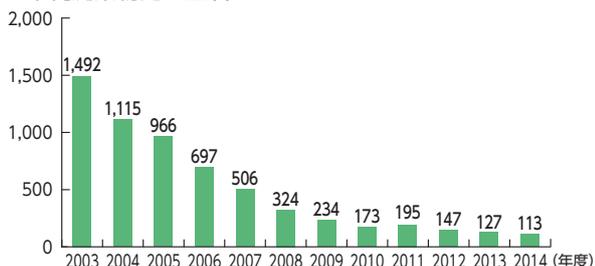
## 廃棄物の削減

当社は、製造段階で発生する埋立・焼却廃棄物の削減を環境管理活動の主要課題に位置付け、2013年度から新たな目標「単純廃棄物量の生産量比 0.3%以下、総廃棄物量の生産量比 4%以下」に取り組むこととしました。工程改善による歩留り向上等により、廃棄物の発生そのものの抑制を図るとともに、発生した廃棄物に関しては分別を徹

底し、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクル、RPF(プラスチック由来の固形燃料)、セメント原料化等の有効利用への転換を図っています。

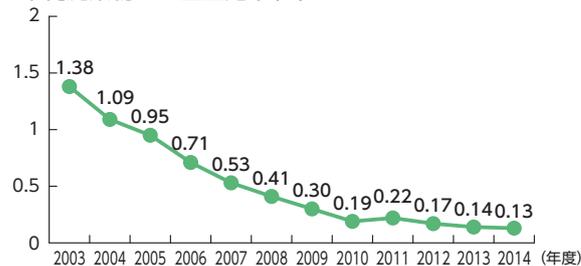
削減活動の結果、2000年度の埋立・焼却廃棄物発生量2,255トンに対し、2014年度は113トンで、約95%削減しました。

### ● 単純廃棄物発生量(t)



\*埼玉工場、三重工場、群馬工場、研究開発センターで発生した単純廃棄物量です。

### ● 単純廃棄物の生産量比率(%)



# 活動結果の概要

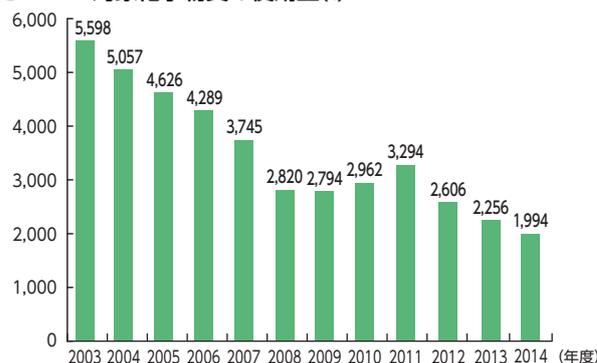
## 化学物質の適正管理

当社は、従来から化学物質審査規制法、労働安全衛生法や消防法等に基づき、化学物質管理を実施しています。1999年度には管理徹底のため集計システムを構築し、2001年4月施行の化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)に対応できる体制を整えました。

2009年10月には、化学物質排出把握管理促進法が改正施行され、PRTR対象化学物質の種類変更がありました。そのため、2010年度より新対象化学物質の使用や排出量等の集計を実施し、2011年度には、A重油に含まれるメチルナフタレン使用量も集計に追加しています。2011年度は弊社グループ会社のリケンタイランドカンパニーリミテッドが洪水被害に遭ったことにより、日本国内において生産支援を行いました。その結果、化管法第一種指定化学

物質の使用量が3,294トンと著しく増加いたしました。2012年以降は減少傾向にあります。第一種指定化学物質の使用種類数は、2014年度23種類でした。うち1トン以上使用し国へ届け出したものは8種類でした。

● PRTR対象化学物質の使用量(t)



## PCB廃棄物の保管状況

2001年7月、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」(PCB\*1特別措置法)が施行されました。グループ全体での管理強化のため2005年度中に関係会社で保管していた6台の廃PCB機器を埼玉工場に移動・保管しました。埼玉工場、三重工場、研究開発センター(東京)の3事業所でのPCB廃棄物の保管および処理状況は下記の通りです。

また1989年以前の重電機器には微量のPCBが含有された絶縁油が使用されている可能性が高いため、使用中のコンデンサ・トランスを順次、調査分析を進めています。

事業所名	PCB廃棄物	保管と処理状況
埼玉工場	高圧コンデンサ 15台(高濃度)	鉄製容器に保管 国からの処理連絡待ち
	高圧トランス 2台(低濃度)	鉄製容器に保管 2015年度中に処理の予定
	PCB含有廃水・廃油 1,446l(低濃度)	鉄製容器に保管 2015年度中に処理の予定
三重工場	高圧トランス 4台(低濃度)	2014年度処理完了
	PCB含有廃油 350l(低濃度)	
	PCB含有ウェス 300g(低濃度)	
研究開発センター(東京)	高圧コンデンサ 12台(高濃度)	2013年度処理完了
	高圧トランス 1台(低濃度)	
	PCB含有廃油 330l(低濃度)	
	PCB含有ウェス 15kg(低濃度)	

## ストック汚染・公害防止の取り組み

2001年に各工場、事業所の調査を行った結果、旧蒲田工場に土壌汚染が確認され、土壌改質を継続しその状況を監視してまいりました。当該地の土壌改質工事を実施し、土壌汚染のない状態にし、2011年度に売却しました。また、この敷地を利用していた研究開発センターも隣接する敷地に移転しましたが、この敷地においても土壌汚染が確認されたため、移転にあたり一部について汚染拡散防止措置を施しました。

各サイトでは、環境法規制および自主規制監視項目について定期的に測定を実施しています。項目として排ガス、地下水、騒音、振動、臭気、放射線、粉塵などがあり、特に騒音対策に配慮しています。各工場では近隣住民の皆様と懇談会を定期的に開催させていただき、環境測定値の公開、工場内の査察の実施を通じ当社の事業活動へのご理解をいただいています。

\*1 PCB: Polychlorinated Biphenyl(ポリ塩化ビフェニル)の略称

## 特定化学物質規制への対応

原材料管理については、欧州におけるREACH\*1への対応、また日本における化学物質に関する諸規制の改正への対応をより充実するため、化学物質含有情報シートを作成し、2009年8月からRoHS6物質の測定データ、微量残留化学物質を含めた規制対象化学物質の含有情報を収集することとしました。そして関係会社への適用も明確にし、「リケンテクノスグループ グリーン調達基準」としました。お客様に安心・安全な商品を提供することはメーカーの使命であり、使用する化学物質の安全性を確保することは当社の重要課題として捉え、2006年度に全社横断的な組織

である「化学物質管理委員会」を新たに設置しました。『化学物質管理指針』を設定し、法律で製造・使用が禁止されている化学物質はもちろん、化学物質審査規制法の監視化学物質なども使用禁止とし、鉛やトルエンなど法律で使用禁止となっていない化学物質についても、労働安全衛生上使用を避けた方が安全と思われるものは、自主的に削減することを明確に意志表示しました。さらには、新規採用化学物質の審査などを実施し、全社を挙げて安全性最優先の商品を提供する仕組みを構築していきます。

## 生物多様性

化学物質審査規制法第一種・第二種特定化学物質および監視物質の不使用、PRTR第一種指定化学物質の使用削減等に取り組み、また大気汚染防止法、水質汚染防止法、

労働安全衛生法等を遵守して、人への影響、生態系への影響を配慮した製品開発、生産、販売を実施しています。

## 環境会計

当社は、環境保全活動への取り組みに関する会計情報を2006年度より開示しています。

### 2014年度環境会計の集計基準

- (1)集計範囲：リケンテクノス全事業所(単体)
- (2)対象期間：2014年4月1日～2015年3月31日
- (3)参考文献：『環境会計ガイドライン2005年版』(H17.2環境省発行)

### 2014年度環境会計の総括

2014年度は、環境保全コスト投資額約0.4億円、費用額約10.2億円で合計約10.6億円でした。投資額の内訳は公害防止・地球環境保全・資源循環コストです。費用額ではRoHS指令対応のための分析費用やISO維持活動等があり、環境配慮型製品の研究開発費用が約8.8億円と非常に大きなウエイトを占めています。

活動の結果の環境保全効果として、廃棄物最終処分量は、廃棄物削減やリサイクルの推進により、前年度と比べ14トン削減の113トンでした。また、CO<sub>2</sub>排出量について

は、継続的な省エネ活動等を行いました。前年度と比べ7,373t-CO<sub>2</sub>増加の42,799t-CO<sub>2</sub>となりました。電力のCO<sub>2</sub>排出量換算係数が大きくなったためです。電力原単位(電気使用量MWh/製品t)は、昨年度比0.7%削減で、重油原単位(重油使用量kl/製品t)は、昨年度比1.8%削減の状況です。

廃プラ等の有価売却・省エネ等による費用削減等で約1,000万円の経済効果を得ることができました。

\*1 REACH:化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則

## 活動結果の概要

## ● 環境保全コスト

単位:千円

分類	調査対象の取り組みの内容	投資額 <sup>*1</sup>	費用額 <sup>*2</sup>
1. 事業エリア内コスト		40,495	105,852
*公害防止コスト	騒音対策工事、飛散防止設備の維持管理	(7,175)	(60,249)
*地球環境保全コスト	省エネ設備の導入・改善	(33,320)	(0)
*資源循環コスト	産廃処理、リサイクルコスト等	(0)	(45,603)
2. 上・下流コスト	製品含有化学物質分析費用	0	15,560
	容器包装リサイクル委託費用等	0	0
3. 管理活動コスト	CSR報告書発行、ISO維持活動(外部審査費用) 排水・VOC分析、構内緑地管理費等	0	17,094
4. 研究開発コスト	環境配慮型製品の研究開発費	0	887,042
5. 社会活動コスト	工場周辺美化活動費、寄付金	0	977
6. 環境損傷対応コスト	土壌調査改質費	0	1,060
合計		40,495	1,027,585

## ● 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標	2013年度	2014年度	
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量 (GJ)	791,610	771,617	
	種類別エネルギー投入量	電気 (MWh)	67,182	65,600
		重油 (kl)	3,388	3,260
		灯油 (kl)	0	0
		ガソリン (kl)	47	45
		軽油 (kl)	10	8
	PRTR管理対象物質投入量 (t)	2,265	1,970	
	水資源投入量	水道水 (m <sup>3</sup> )	135,000	137,000
		地下水 (m <sup>3</sup> )	121,000	160,000
		工業用水 (m <sup>3</sup> )	10,700	9,800
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	35,426	42,799	
	PRTR管理対象物質排出量 (t)	5.8	6.2	
	PRTR管理対象物質移動量 (t)	8.8	5.1	
	廃棄物等総排出量 (t)	3,600	3,600	
	廃棄物最終処分量 (t)	127	113	
	排水量 (m <sup>3</sup> )	214,100	268,000	
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	容器包装使用量 (t)	2,500	3,000	
その他の環境保全効果	製品等の輸送量 (t・km)	28,189,435	25,253,894	
	輸送に伴うCO <sub>2</sub> 排出量 (t)	4,911	4,394	

## ● 環境保全対策に伴う経済効果

単位:千円

効果の内容	金額	
	2013年度	2014年度
プラスチック・紙屑等の再資源化による利益	5,930	4,761
省エネ等による費用削減	29,504	5,851
合計	35,434	10,612

## ◆ 資産除去債務について

2015年3月末現在 単位:千円

資産除去債務に関する会計処理は2010年4月1日より適用が開始されました。現時点での環境関連法令規定による資産除去債務を、次のように把握しています。

費用内容	処理費用
建物原状回復費	24,904
石綿使用部位の処理費	29,642
PCB使用設備更新費	0
土壌汚染処理費	56,924
合計	111,470

\*1 投資額:対象期間中の環境保全を目的とした支出額で、その効果が数期にわたって持続し、その期間に費用化されていくもの

\*2 費用額:環境保全を目的とした財・サービスの費消によって発生する費用または損失

## リケンテクノスグループ環境データ

### リケンテクノス工場別環境データ

#### ◆ 埼玉工場

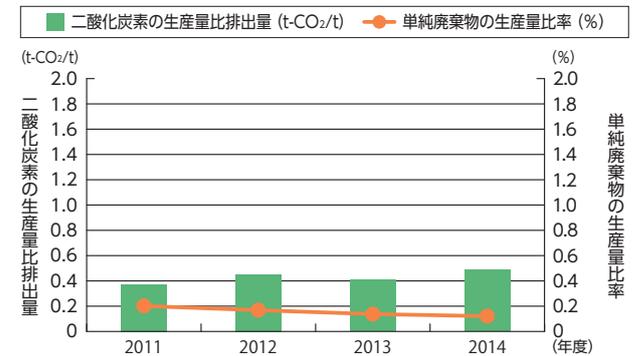
- 敷地面積: 58,739m<sup>2</sup>
- 事業内容: 塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
- 従業員: 299名

#### ◆ 三重工場

- 敷地面積: 55,247m<sup>2</sup>
- 事業内容: 塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
- 従業員: 229名

#### ◆ 群馬工場

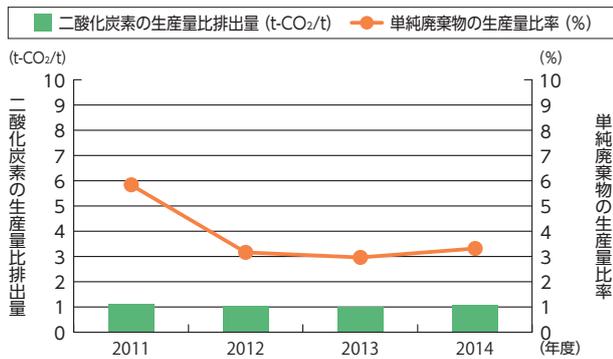
- 敷地面積: 55,904m<sup>2</sup>
- 事業内容: クリーン環境下での高機能フィルムの製造
- 従業員: 47名
- 二酸化炭素の生産費排出量と単純廃棄物の生産費量 (埼玉工場、三重工場、群馬工場の合計)



### リケンテクノス関係会社環境データ

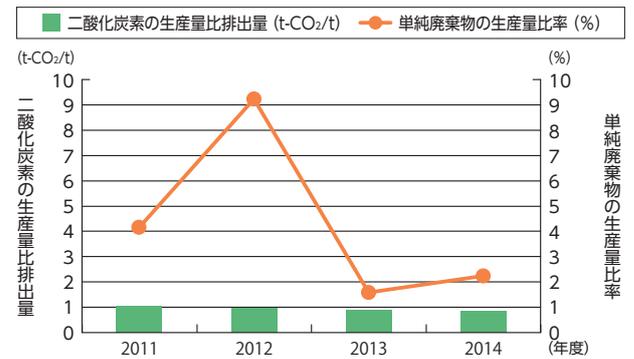
#### 進興電線株式会社

従業員数 66名



#### 株式会社協栄樹脂製作所

従業員数 50名



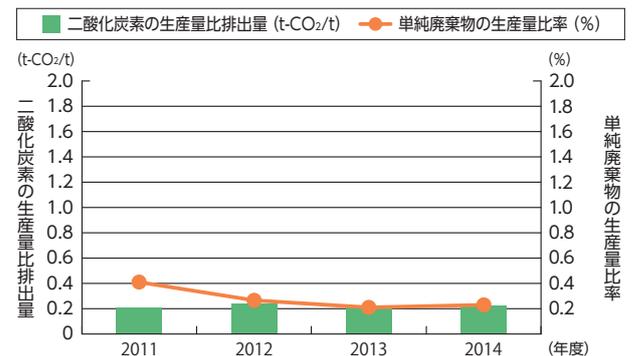
#### リケンケミカルプロダクツ株式会社

従業員数 54名



#### リケンタイランドカンパニーリミテッド

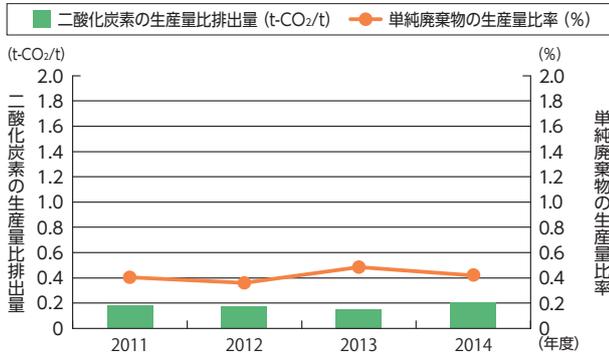
従業員数 216名



# 活動結果の概要

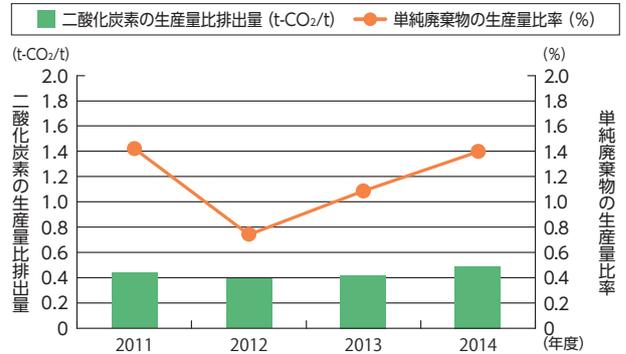
## リムテックコーポレーション

従業員数 108名



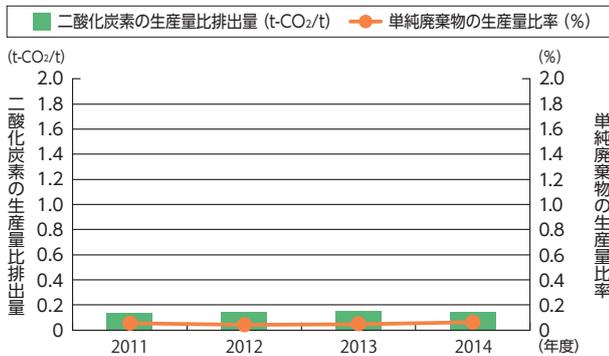
## リケンエラストマーズコーポレーション

従業員数 25名



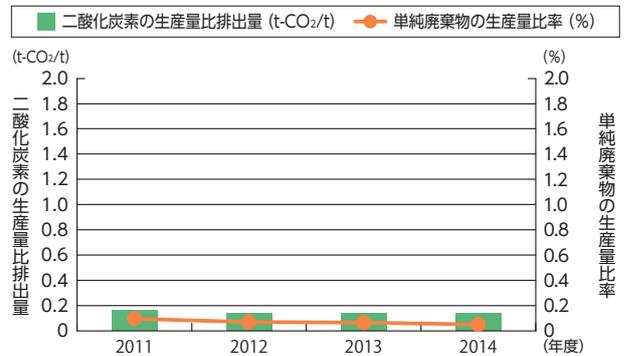
## PT. リケンインドネシア

従業員数 192名



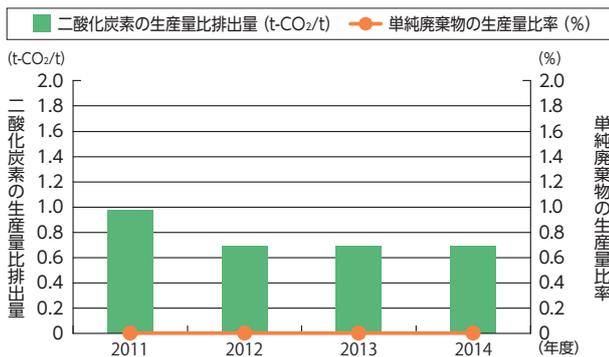
## 上海理研塑料有限公司

従業員数 100名



## 理研食品包装 (江蘇) 有限公司

従業員数 30名



## 有識者の意見



株式会社インターリスク総研  
事業リスクマネジメント部 環境グループ  
シニアマネージャー・上席コンサルタント  
成蹊大学 非常勤講師

いかり まさとし  
猪刈 正利 氏

### 評価できる点

- 業務上、多数のCSR報告書を読ませていただきますが、今回の貴社CSR報告書に登場する社内外のステークホルダーは、他の報告書と比較にならないほど多岐にわたっています。そして会社からだけの一方的な説明ではなく、各ステークホルダーが多数コメントされているので、読み手にリケンテクノスの真の姿が、より客観的に伝わるものと考えます。なお昨年の意見でご指摘いただきましたお客様・お取引先様も多数登場され、貴社の「マーケットイン」の姿勢を評価されています。
- 2015年度に最終年度を迎える3か年中期経営計画の主要課題のひとつに「徹底した人材育成」を掲げられ、本報告書では、若手社員(特集・座談会)、海外関連会社の現地スタッフ、子育て支援を利用した社員のコメントが、上記同様、多数紹介されています。これらのコメントを読めば、所定の成果を挙げられていることが推察できます。
- これは過去2年「評価できる点」として指摘させていただきましたが、売上高が増加する中、単純廃棄物発生量及びPRTR対象化学物質使用量は、ここ数年、総量(絶対量)で減少傾向にあることを高く評価いたします。

### さらなる改善が望まれる点

- CSR情報は、必ずしも全てポジティブな内容とは限りません。本報告書でも、一部、お客様の厳しいご指摘、労災件数、工場

内の少量の樹脂の漏洩、そして過去発生した土壌汚染への対応などのネガティブ情報が記載されており、このような開示姿勢は近年評価される傾向にあります。それら以外に、例えば重大な製品・品質クレームなどは無かったのか、また重大ではなくともクレーム対応に問題は無かったのかなど、その他のネガティブ情報があれば、是正・改善策と共に開示する姿勢が望まれます。

- 環境報告に関しては、環境方針のもと、目標値が数値化されていることもあり、達成度が客観的に評価でき、かつPDCAサイクルで継続的改善を図りつつ取り組まれていることが読み取れます。一方、社会性報告に関しては、環境報告の場合と異なり数値化目標を設定することに困難が伴うことは理解できますが、各当該方針のもと、例えば定性目標を設定し、PDCAサイクルが見えるようなCSR報告書の構成上の工夫が期待されます。

### 次年度に向けて

- 最近では中期経営計画とCSR取組を、連携・連動させる傾向にあります。次期中期経営計画策定にあたっては、CSRの視点が適切に織り込まれ、さらに本報告書で紹介された「徹底した人材育成」のように、必要に応じて次号のCSR報告書において、その進捗が報告されることを期待しています。
- 今回のCSR報告書では、ステークホルダー、即ち『人』に焦点が当てられ、とても親しみやすい報告書に仕上がりました。一方、樹脂素材という製品特性もあり、一般の読者には、その開発ストーリー(秘話)や技術の優位性について理解するのは困難が伴います。このため、特定『製品』に焦点を当てて、ベンチャー精神やマーケットインの思想を実証するような内容も期待しています。

## 有識者の意見を受けて

リケンテクノス株式会社 代表取締役社長 清水 浩

3か年中期経営計画の最終年度となり目標完遂に向け邁進すると同時に、次期3か年中期経営計画の策定もスタートさせております。計画策定の過程において、化学品を扱う製造メーカーとしての基本を再確認すると同時に、本報告書でご報告したネガティブ情報についても随時是正・改善を行ってまいります。また、CSRの視点を適切に織り込めるよう配慮いたします。猪刈様よりご指摘いただいた弊社の保

有する優位性のある技術をいかにわかりやすくステークホルダーの皆様へお伝えしていくかは、CSR報告書を含めた今後の広報課題として積極的に取り組んでまいります。

猪刈様のご指摘を真摯に受け止め、「企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続ける」べく、これからもCSR活動を積極的に推進し、ステークホルダーの皆様と、さらに強固な「信頼関係」を築いていけるよう努めてまいります。

## 編集後記

本報告書では、社長と若手社員の座談会をご紹介します。リケンテクノスの配合加工技術で企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続けるためには、若手社員の成長が欠かせません。彼らのありのままの姿を見ていただき、リケンテクノスの明るい未来を少しでも感じていただけたら幸いです。本報告書への率直かつ忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

本報告書取扱部署代表者：常盤 和明(取締役 経営企画室長)

マネジメントシステム部：青木 秀明、井上 宏一、栗原 仁  
経営企画室：吉岡 さやか



## リケンテクノス ウェイ

私たちは科学の力で  
豊かさ、安心、快適を創り出す  
チャレンジメーカーです  
独創的で卓越した  
樹脂素材の配合加工技術で  
企業と人と社会に  
新たな価値と喜びを提供し続けます

We are a challenger  
that harnesses the power of science  
to improve the quality of life  
and create a safe, affluent society.  
We continuously provide new value and satisfaction  
to people, companies and society  
through our original and superior formulations  
and manufacturing technologies of multiple resins.

お問い合わせ先

この報告書の内容に関するご意見、お問い合わせは下記で承っています。

**リケンテクノス株式会社 経営企画室**

〒101-8336

東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地 ワテラストワー

TEL: 03-5297-1631 FAX: 03-5297-1660

ホームページ

<http://www.rikentechnos.co.jp>

2015年9月発行

